HDD／DVDの編集

4つの録画フォーマットでの、おもにできること／できないこと

	ハードディスク(HDD)		DVD	
	HD/SD録画	VR録画	VR録画	ビデオ録画
任意のチャプター設定	○	○	○	×
シーン消去	○	○	○	×
チャプター消去	○	○	○	×

	ハードディスク(HDD)		DVD	
	HD/SD録画	VR録画	VR録画	ビデオ録画
プレイリスト編集	×	○	○	×
フレーム単位編集	×	○※	○	×
シームレス再生	×	○	○	×

※高速ダビングの設定を「する」で録画したタイトルは、フレーム単位の編集ができません。(**93**ページ)

おしらせ

次のような場合は、編集ができません。
- HD/SD録画したタイトルは、プレイリストを作ることはできません。
- ダビング予約を設定したあと(ダビング予約待機中)は、ダビング元の消去や編集操作ができません。
- ディスク保護が設定されているDVD-RWは、編集ができません。
- ビデオフォーマットで録画したディスクは、プレイリストが作れません。
- DVD-Rに録画した場合は、プレイリストが作れません。

次のように、編集する上でのご注意があります。
- チャプターマークの追加やシーン消去などの編集を行った場合、編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。
- 他のDVDレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたり、インデックスの画面が違った画面になる場合があります。

編集について

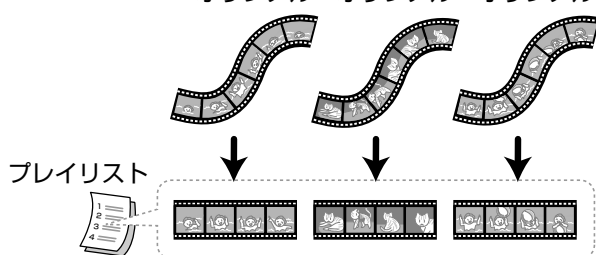
録画フォーマットによって、編集できる内容や操作が異なります。
録画したタイトルから不要な場面を消去するなど、本機1台で編集を行うことができます。
録画したオリジナルの映像から「プレイリスト」を作り、オリジナルの映像はそのままに編集を行うことができます。

オリジナル

1回の録画(録画開始～停止)が1つの「タイトル」となります。録画したそのままの映像(タイトル)を、「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト

オリジナルをもとに編集して作成したタイトルを「プレイリスト」と呼びます。プレイリストは、何度でも作り直すことができます。

※ プレイリストは、オリジナルの再生順を記述したリストであり、実際にオリジナルをコピーするわけではありません。そのため、少ないディスクスペースで編集を行うことができます。

編集の手順

VRフォーマットで録画したオリジナルのタイトルを編集するときの基本的な手順。

ディスクをセットします。

▼

編集したいタイトルを選び、編集します。
- 選んだシーンを消去する(**94**ページ)
- 画面リストに表示させる静止画を変更する(**96**ページ)
- タイトル内で区切りを作る(**98**ページ)
- チャプター結合する(**99**ページ)

VRフォーマットで録画したタイトルを、プレイリストを作ってから編集するときの基本的な手順。

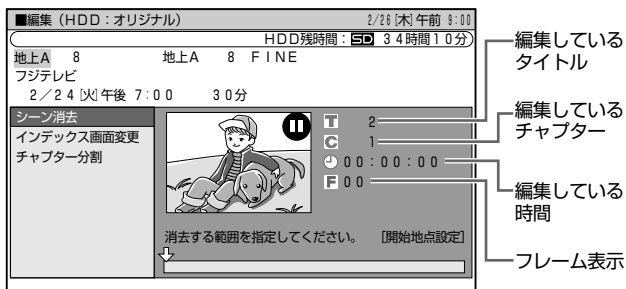
ディスクをセットします。

▼

プレイリストを作成します。
- オリジナルのタイトルをそのままプレイリストのタイトルにする(**100**ページ)
- オリジナルからシーンの一部を選んで作る(**102**ページ)

▼

作成したプレイリストを選び、編集します。
- オリジナルからプレイリストにシーンを追加する(**104**ページ)
- タイトルの順番を変える(**106**ページ)
- 選んだシーンを消去する(**108**ページ)
- インデックスの画面を変更する(**109**ページ)
- プレイリスト内で区切りを作る(**109**ページ)
- チャプター結合する(**109**ページ)

編集画面について

HD/SD録画したタイトルや、「高速ダビング優先」で録画したタイトルは、フレーム表示がありません。
また、フレーム表示は一時停止、コマ送り・コマ戻し時以外は「00」と表示されます。

「シームレス再生」について

編集した映像のつなぎ目が、なめらかに再生されます。（ただし、つなぎ目に1秒程度のズレが生じ、シーンの一部が表示されない場合があります。）（**137**ページ）

ヒント

- 設定は、「スタートメニュー」－「各種設定」－「視聴・再生設定」－「シームレス再生設定」で設定します。

「高速ダビング」の設定について

HDDに「高速ダビング」を設定して録画したタイトルは、フレーム単位での編集が行えません。フレーム単位での編集を行いたいときは、「高速ダビング」を「しない」に設定します。（**61**・**132**ページ）

ヒント

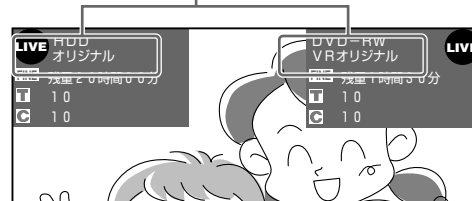
- 設定は、「録画リスト」－「機能メニュー」－「高速ダビング優先」で設定します。
- 高速ダビング優先を「する」に設定して録画したタイトルをフレーム単位で編集したいときは、高速ダビング優先を解除します。（**61**ページ）
  高速ダビング優先を解除したタイトルは、高速ダビング優先を再設定することはできません。

オリジナルとプレイリストの切り換え

（HDDまたはVRフォーマットのみプレイリストが作れます）

■本機の電源が「入」のとき切り換える

オリジナル／プレイリスト

停止状態で オリジナル／プレイリスト を押します。
押すたびにオリジナルとプレイリストが切り換わります。

おしらせ

- プレイリストに切り換えた状態で録画をしたときは、自動的にオリジナルに切り換わります。

■録画リストで切り換える

オリジナル／プレイリスト

録画リストで オリジナル／プレイリスト を押します。
押すたびにオリジナルとプレイリストが切り換わります。

■編集画面で切り換える

オリジナル／プレイリスト

編集タイトル一覧画面で オリジナル／プレイリスト を押します。
押すたびにオリジナルとプレイリストが切り換わります。

HDD／DVDを編集する（オリジナル）

いらないシーンを消去する（シーン消去）

- オリジナルの映像からシーンを選んで消去できます。
  - ・タイトルを全て消去したいときは…**126**ページ
  - ・タイトル（またはチャプター）を選んで消去したいときは…**127**ページ
  - ・編集する前に、**92**·**93**ページの説明をお読みください。

おしらせ

- DVD-RW/R(ビデオフォーマット)のディスクでは、シーン消去ができません。

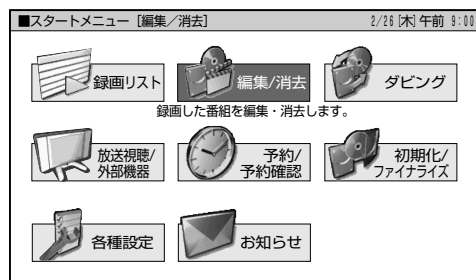
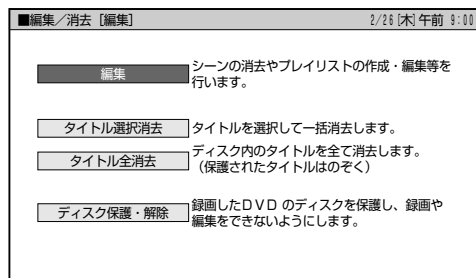
編集を始める前に

- 編集したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

1 スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲▼◀▶ で「編集／消去」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 編集したいタイトルを▲▼◀▶ で選んで、決定 または 黄（編集メニュー）を押す

5 ▲▼で「シーン消去」を選び、決定を押す

- 選ばれたタイトルが一時停止となります。

6 ▶再生 を押して、再生を始める

- リモコンの 早送り 早戻し 静止／一時停止 前 次 スロー を使って、消去したいシーンを探します。

次ページの手順 7 へつづく

7 消去したいシーンになったら(決定)を押す

- 消去開始地点が設定されます。(タイトルの再生は続きます。)
- フレーム単位での操作をしたいときは、消去したいシーンになったときに、(静止/一時停止)を押してください。フレームの操作は(前)(次)で行えます。
- 早送り中・早戻し中は、(決定)を押しても消去開始地点は設定できません。

- 開始地点がチャプターの先頭に近いときは、チャプターの先頭が開始地点として選ばれます。指定の場所を開始地点にしたいときは、前のチャプターとチャプター結合(**99**ページ)してから開始地点を選び直してください。

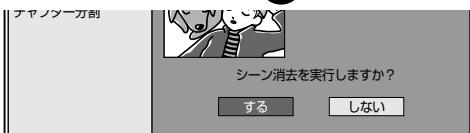
8 消去したいシーンの終わりで、(決定)を押す

- 消去終了地点が設定されます。(タイトルが一時停止します。)
- 早戻しをしていて、開始地点より前のシーンは終了地点として設定することはできません。
- フレーム単位での操作をしたいときは、消去したいシーンになったときに、(静止/一時停止)を押してください。フレームの操作は(前)(次)で行えます。
- 早送り中・早戻し中は、(決定)を押しても消去終了地点は設定できません。

- 終了地点がチャプターの終わりに近いときは、チャプターの終わりが終了地点として選ばれます。指定の場所を終了地点にしたいときは、後ろのチャプターとチャプター結合(**99**ページ)してから終了地点を選び直してください。

9 内容を確認するときは(赤)(内容確認)を押す

- 消去するシーンを抜いたタイトルが再生されます。

10 (◀)で「する」を選び、(決定)を押す

- 消去が実行されます。
  完了すると、手順**5**の画面に戻ります。
- (緑)**(編集取消)**が表示されているときは、(緑)を押すと、編集の取り消しができます。画面の指示にしたがって操作してください。
- 連続してシーン消去をするときは、手順**5**~**10**をくり返してください。
- シーン消去を終了するときは、(戻る)を押します。編集画面に戻ります。

11 (終了)を押す

- 編集が終了します。

ご注意

シーンの消去で開始地点や終了地点を選ぶとき

- 3秒より狭い範囲は設定できません。
- オリジナルから一度消去した範囲は、完全に消去されます。もとに戻すことはできませんので、十分注意し、内容を確認してから操作してください。

おしらせ

- VR録画したタイトル、VRフォーマットのタイトルの場合シーンの消去は、1 タイトルあたり50 回までしか行えません。
- 一度の操作でシーンの消去できるのは、1シーンです。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、編集(録画)ができない場合があります。
- 消去したオリジナルのシーンがプレイリストにも含まれている場合は、プレイリストからもそのシーンは消去されます。(このようなときは、プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。)

開始地点や終了地点のシーンを探すとき

「開始地点」や「終了地点」のシーンを探すときは、下記のような再生時の操作が可能です。

●再生

(▶再生)を押すと、一時停止している現在のタイトルを再生します。

●シーンを探す

シーンを探すときは(早戻し)または(早送り)が便利です。

●チャプターの頭出し

選択するシーンが別のチャプター内にある場合、(前)や(次)で、まずチャプターを探します。

●一時停止

開始地点や終了地点に近いシーンになったら(静止/一時停止)を押し、一時停止するとシーンが探しやすくなります。
(開始地点、終了地点が多少ずれることがあります。)

●コマ送り/コマ戻し

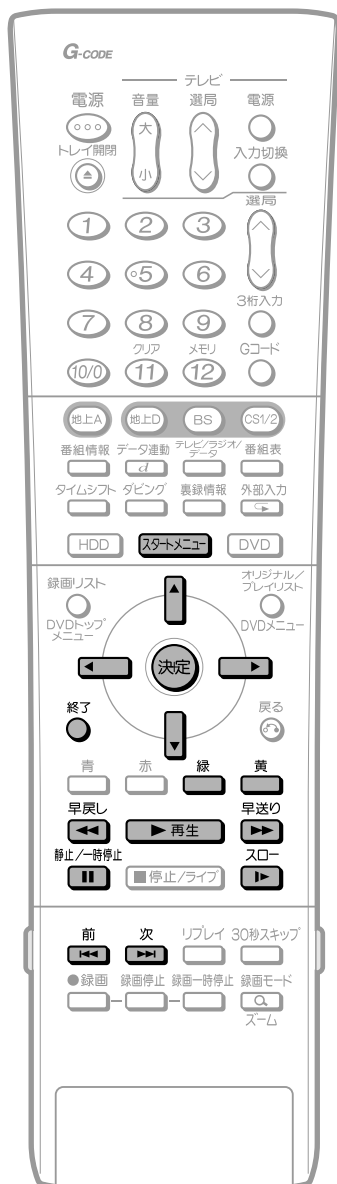
一時停止してから(次)を押すと、コマ送り再生されます。
(前)を押すと、コマ戻し再生されます。

●シーンの選択

より正確にシーンを選ぶには、選択したいシーンの少し手前からスロー再生にすると、シーンの行き過ぎなどを防げます。
一時停止してから(スロー)を押すと、スロー再生をしながらゆっくりとシーンを選択できます。
※ コマ送りやスロー再生でシーンを選択したときは、少しずれることがあります。

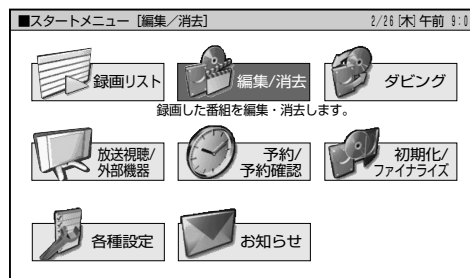
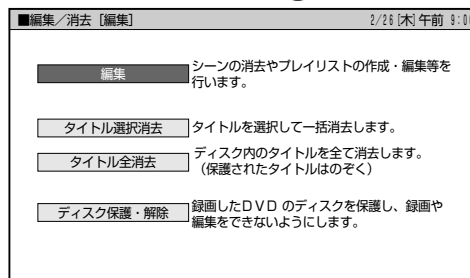
インデックス画面を変更する

HDD HD/SD | HDD VR | DVD RW VRフォーマット | DVD RW ビデオフォーマット | DVD R | DVD VIDEO | 音楽用CD ビデオCD

録画リストの画面リストに表示される静止画を、タイトル内の好きなシーンに変えることができます。

編集を始める前に

- 編集したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

1 スタートメニュー を押す

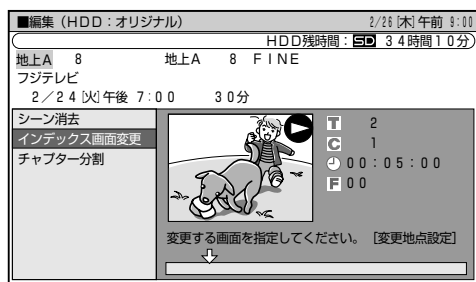
2 ▲▼◀▶ で「編集／消去」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

- 編集リスト画面になります。

4 編集したいタイトルを▲▼◀▶ で選び、決定 または 黄（編集メニュー）を押す

- 編集画面になります。

次ページの手順 5 へつづく

5 ▲▼で「インデックス画面変更」を選び、決定を押す

6 ▶再生 を押して再生を始める

- リモコンの早送り 早戻し 静止/一時停止 前 次 スロー を使って、インデックス画面にしたいシーンを探します。（**95**ページ）

7 インデックス画面にしたいシーンになったら決定を押す

- タイトルが一時停止します。
- 早送り、早戻し中は▶再生を押してから決定を押します。

8 この画面でよければ、◀を押して「する」を選ぶ

- 「しない」を選んだときは手順**6**の画面に戻ります。

9 決定を押す

- 新しいインデックス画面が確定し、手順**5**に戻ります。

インデックス画面を元に戻したいときは、緑（編集取消）を押す

- 画面の指示に従って操作してください。

10 「インデックス画面変更」を終了するときは、終了を押す

- 編集が終了します。

タイトルの途中に区切りを作る（チャプター分割）

一つのタイトルをいくつかのチャプター単位で分割することができます。
シーンの検索・チャプター単位の編集やダビングがより便利になります。

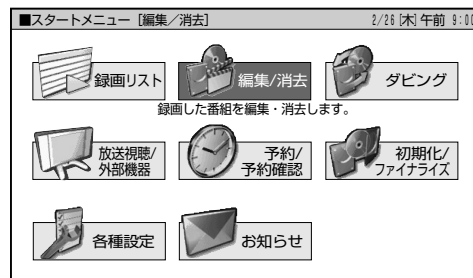
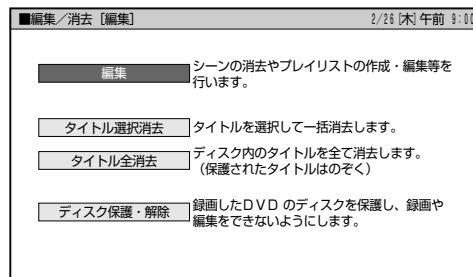
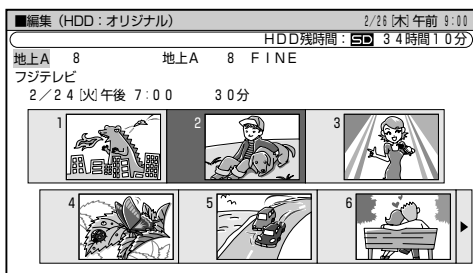
- 録画・再生中にリモコン扉内の チャプターマーク を押してチャプターの区切りをつけることもできます。（**37**・**39**・**78**ページ）

扉内

編集を始める前に

- 編集したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

1 スタートメニュー を押す

2 ▲▼◀▶ で「編集／消去」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 編集したいタイトルを▲▼◀▶ で選び、決定 または 黄（編集メニュー）を押す

5 ▲▼ で「チャプター分割」を選び、決定 を押す

次ページの手順 6 へつづく

6 ▶再生 を押して再生を始める

- リモコンの 早送り 早戻し 静止/一時停止 前 次 スロー を使って、分割したいポイントを探します。（**95**ページ）

（**95**ページ）

7 分割したいポイントで 決定 を押す

- 早送り、早戻し中は を押してから 決定 を押します。

8 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

- 続けて分割するときは、手順**5**～**8**をくり返します。

チャプター分割を取り消したいときは、緑（編集取消）を押す

- 画面の指示に従って操作してください。

9 編集を終了するときは、終了 を押す

- 編集が終了します。

おしらせ

- 3秒以上の間隔を開けて分割してください。それより短い間隔では分割できません。

チャプターどうしをつなぐ（チャプター結合）

HDD HD/SD　HDD VR　DVD RW VRフォーマット　DVD RW ビデオフォーマット　DVD R　DVD VIDEO　音楽用CD ビデオCD

となり合った二つのチャプターをつなぎ、一つのチャプターにすることができます。

おしらせ

- シーン消去した際に自動的に記録されたチャプターやプレイリストのシーン追加で記録されたチャプターは、結合できません。

1 スタートメニュー を押す

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「編集／消去」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「編集」を選び、決定 を押す

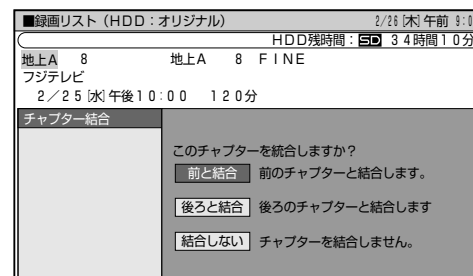
4 編集したいタイトルを ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

5 赤（チャプター単位）を押し、チャプターリストにする

6 ▲ ▼ ◀ ▶ で、つなぎたいチャプターを選び、決定 または 黄（編集メニュー）を押す

7 「チャプター結合」で 決定 を押す

8 ▲ ▼ で結合のしかたを選び、決定 を押す

- 「前と結合」「後ろと結合」「結合しない」から選びます。
- 「前と結合」、「後ろと結合」を選ぶと、二つのチャプターがつながり、手順**6**の画面に戻ります。
- 「結合しない」を選んだときは、前の画面に戻ります。

9 編集を終了するときは、終了 を押す

- 編集が終了します。

HDD／DVDを編集する（プレイリスト）

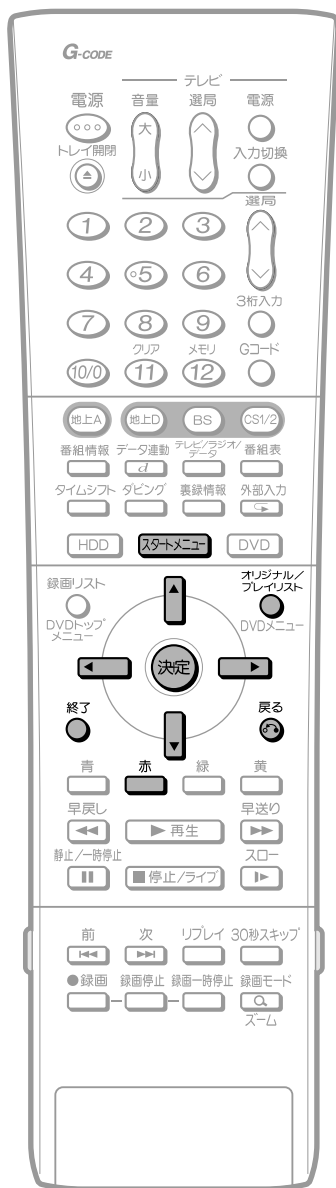
プレイリストを作成する

オリジナルのタイトルをまるごとコピーして、プレイリストが作れます。また、オリジナルタイトルの中から好きなシーンを選んで、プレイリストにすることもできます。

ヒント

- 「タイトルをコピー」「シーンを指定してコピー」という操作は、実際にオリジナルのタイトルをコピーするのではなく、「オリジナルのタイトルを、プレイリストのタイトルにする」という情報を書き込む操作です。
  そのため、ディスクの空き容量を減らさず、またオリジナルのタイトルには手を加えずに編集ができます。

ご 注 意

- デジタル放送をハードディスク（HDD）にHD/SD録画したタイトルからは、プレイリストが作れません。

編集を始める前に

- 編集したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

オリジナルのタイトルまたはチャプターからプレイリストを作る

1 スタートメニューで「編集／消去」を選び、決定を押す

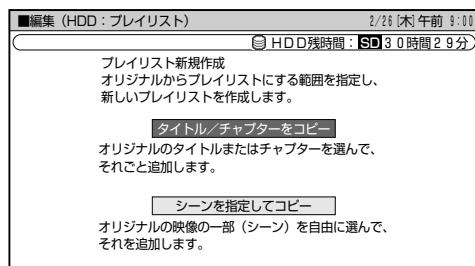
2 ▲▼で「編集」を選び、決定を押す

3 オリジナル／プレイリストを押し、プレイリスト画面に切り換える

- プレイリスト編集画面に切り換わります。
- この時点ではまだタイトルがないので、画像のないタイトル枠「新規作成」が表示されます。
- 後で新たにプレイリストを作成するときは、「新規作成」のタイトル枠を選んでください。

次ページの手順 4 へつづく

4 「新規作成」を選び、(決定)を押す

5 ▲▼で「タイトル／チャプターをコピー」を選び、(決定)を押す

- オリジナルの画面リストが表示されます。

6 ① ▲ ▼ ◀ ▶ でコピーしたいタイトル（チャプター）を選ぶ

- チャプターを選びたいときは、赤（**チャプター単位**）を押します。

② (決定) **を押す**

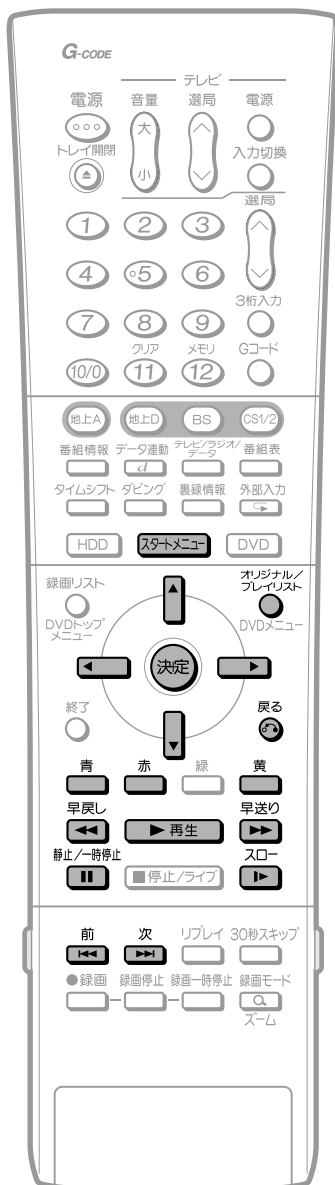
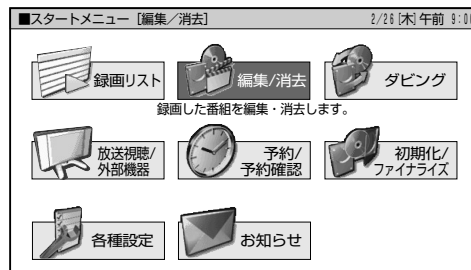
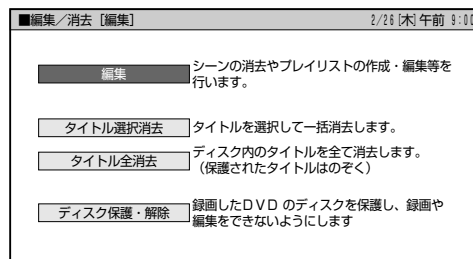
- 選んだタイトル（チャプター）が、プレイリストのタイトルになります。

7 終了を押し、終了する

おしらせ

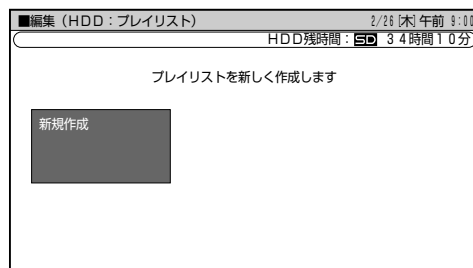
- オリジナルタイトルからプレイリストを作成するとき、オリジナルタイトルのインデックス画面やチャプターマーク情報はコピーされません。

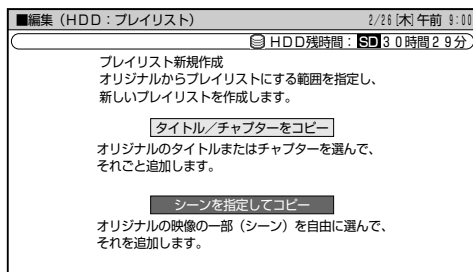
オリジナルの一部からプレイリストを作る

オリジナルタイトルから好きなシーンだけを選んで、プレイリストのタイトルにすることができます。

1 スタートメニューで「編集／消去」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「編集」を選び、決定を押す

3 オリジナル／プレイリストを押しプレイリスト画面に切り換える

- プレイリスト編集画面に切り換わります。
- この時点ではまだタイトルがないので、画像のないタイトル枠「新規作成」が表示されます。
- 後で新たにプレイリストを作成するときは、「新規作成」のタイトル枠を選んでください。

次ページの手順 4 へつづく

4 「新規作成」を選び、(決定)を押す

5 ① [▲][▼]で「シーンを指定してコピー」を選ぶ
② (決定)を押す

6 [▲][▼][◀][▶]でコピーしたいシーンのあるタイトルを選び、(決定)を押す

- チャプターから選びたいときは、[赤]（**チャプター単位**）を押したあと、チャプターを選びます。

7 [▶再生]を押して、再生を始める

- リモコンの[静止／一時停止][早送り][早戻し][前][次][スロー]が使えます。（**95**ページ）

8 コピー開始シーンで(決定)を押す

- 早送り、早戻ししているときは[▶再生]を押してから(決定)を押します。
- 開始地点より前のシーンは終了地点として設定することはできません。
- 開始地点がチャプターの先頭に近いときは、チャプターの先頭が開始地点として選ばれます。指定の場所を開始地点にしたいときは、コピー元のチャプターを前のチャプターと結合（**109**ページ）してから開始地点を選び直してください。

9 コピー終了シーンで、(決定)を押す

- (戻る)を押すと、開始地点を選び直せます。
- 終了地点がチャプターの終わりに近いときは、チャプターの終わりが終了地点として選ばれます。指定の場所を終了地点にしたいときは、コピー元のチャプターを後ろのチャプターと結合（**109**ページ）してから終了地点を選び直してください。

10 内容を確認するときは、[赤]（内容確認）を押す

- コピー開始地点からコピー終了地点までが再生されます。
- (戻る)を押して終了地点を選び直すこともできます。

11 [◀]で「する」を選び、(決定)を押す

- プレイリストのタイトルが1つ、作成されます。

12 続けてプレイリストを作成するときは、手順4〜11を繰り返す

13 (終了)を押し、終了する

ご注意

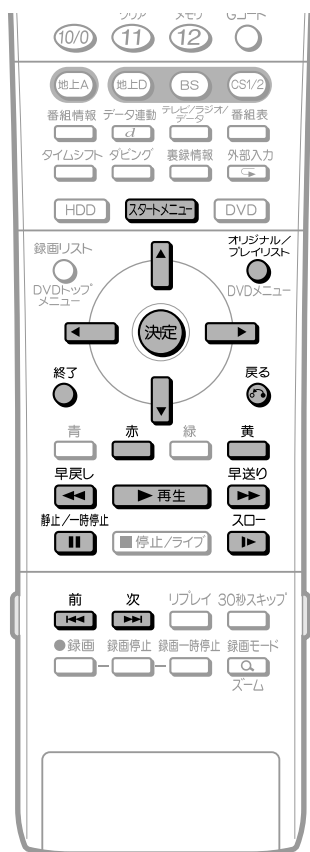
シーンの追加で開始地点や終了地点を選ぶとき
- 3秒より狭い範囲は設定できません。

オリジナルからプレイリストにシーンを追加する　（シーン追加）

 HDD VR　DVD RW VRフォーマット   DVD VIDEO　音楽用CD ビデオCD

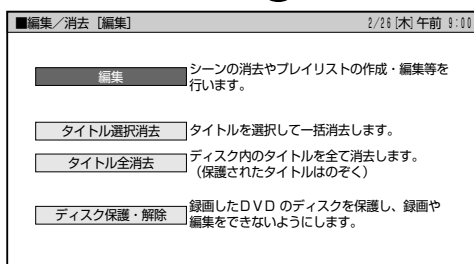
オリジナルから選択した映像を、プレイリストのタイトルの最後に追加します。

おしらせ

- シーンを追加する際、シーン追加後のタイトルが12時間を超えている場合、選んだシーンは追加することができません。

編集を始める前に

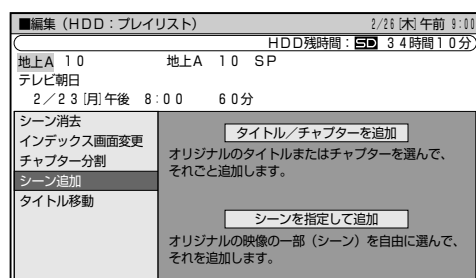
- 編集したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

1 スタートメニューで「編集／消去」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「編集」を選び、決定を押す

3 ① オリジナル／プレイリストを押し、プレイリスト画面に切り換える

② ▲▼◀▶で編集するタイトルを選ぶ

③ 決定または黄（編集メニュー）を押す

4 ① ▲▼で「シーン追加」を選ぶ

② 決定を押す

5 ■ タイトルまたはチャプターを追加するとき

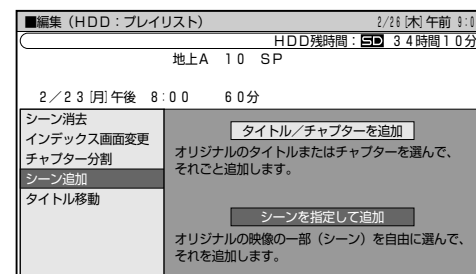
① 「タイトル／チャプターを追加」を選び、決定する

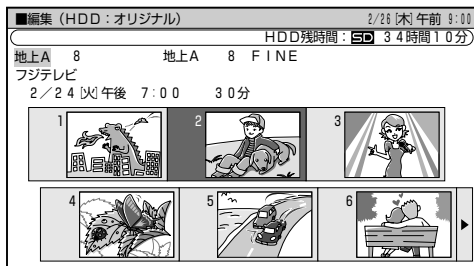
② タイトル（チャプター）リストでタイトル（チャプター）を選び、決定する

→手順9へ進む

■シーンを指定して追加するとき

① 「シーンを指定して追加」を選び、決定を押す

→手順6へ進む

次ページの手順 6 へつづく

6 ▲▼◀▶で編集したいタイトル（チャプター）を選び、決定を押す

7 ① 再生を押す

- リモコンの 静止/一時停止 早送り 早戻し 前 次 スロー が使えます。

（**95**ページ）

② 追加したいシーンで決定を押す

- 早送り、巻戻ししている時は、再生を押してから決定を押します。
- フレーム単位での操作をしたいときは、消去したいシーンになったときに、静止/一時停止を押してください。フレームの操作は前 次で行えます。
- 開始地点がチャプターの先頭に近いときは、チャプターの先頭が開始地点として選ばれます。指定の場所を開始地点にしたいときは、コピー元のチャプターを前のチャプターと結合（**109**ページ）してから開始地点を選び直してください。

8 追加したいシーンの終わりで、決定を押す

- 戻るを押して、シーンの開始地点を選び直すこともできます。終了地点を決定した直後も、戻るを押して終了地点を選び直せます。
- 終了地点がチャプターの終わりに近いときは、チャプターの終わりが終了地点として選ばれます。指定の場所を終了地点にしたいときは、コピー元のチャプターを後ろのチャプターと結合（**109**ページ）してから終了地点を選び直してください。

9 内容を確認するときは、赤を押す

- 追加の開始地点から終了地点までの範囲をテスト再生することができます。
- 確認画面が表示されるまでに、1分程度時間がかかる場合があります。

10 ◀で「する」を選び、決定を押す

- 追加が実行されます。
- 選択したタイトルの後ろにシーンが追加され、1つのプレイリストとして登録されます。

11 終了を押す

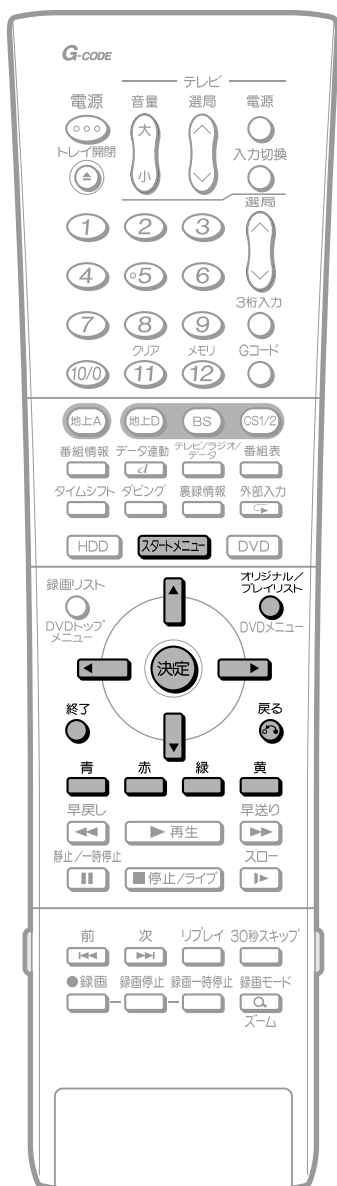
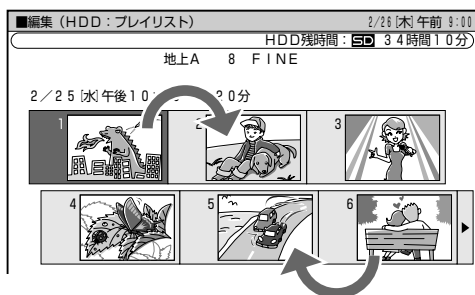
- 編集が終了します。
- 追加したシーンの開始地点には、チャプターマークが自動的に入ります。

おしらせ

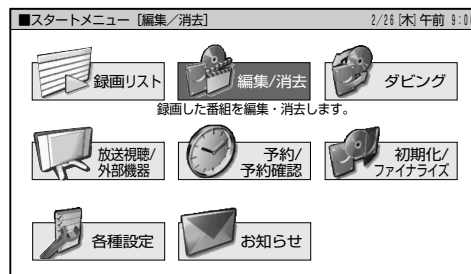
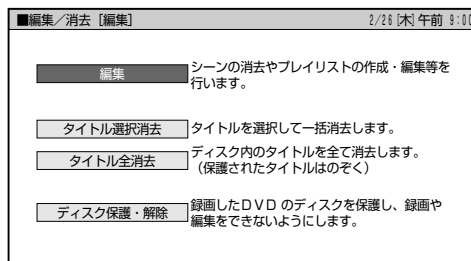
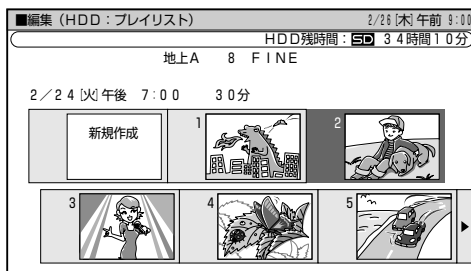
- シーンの追加を行うときは、3秒以上のシーンを選んでください。それより短いシーンは追加できません。
- VR録画したタイトル、VRフォーマットのタイトルの場合シーンの追加やシーンの消去は、1タイトルあたり50回まで可能です。
  1回の操作でシーン追加できるのは1シーンです。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、編集(録画)ができない場合があります。

タイトルの順序を変える（タイトル移動）

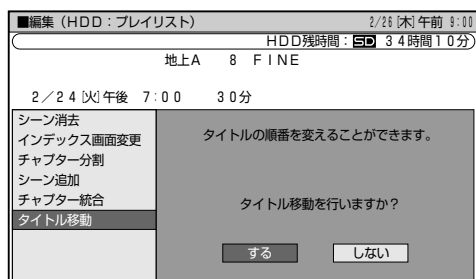
HDD HD/SD　HDD VR　DVD RW VRフォーマット　DVD RW ビデオフォーマット　DVD R　DVD VIDEO　音楽用CD ビデオCD

タイトルの順序を自由に変えることができます。

編集を始める前に

- 編集したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

1 スタートメニューで「編集／消去」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「編集」を選び、決定を押す

3 オリジナル／プレイリストを押し、プレイリスト画面に切り換えて、▲▼◀▶で編集するタイトルを選ぶ

4 決定または黄（編集メニュー）を押す

次ページの手順 5 へつづく

5 [▲▼] で「タイトル移動」を選び、(決定) を押す

6 [◀][▶] で「する」を選び、(決定) を押す

7 [▲▼][◀][▶] で移動先を選ぶ

8 (決定) を押す

- 選択されたタイトルより前を移動先として選んだ場合は、移動先として選んだタイトルの直前にタイトルが移動します。
- 移動した内容を元に戻したいときは、カラーボタン:緑（編集取消）を押します。画面の指示に従って操作してください。
- 選択されたタイトルより後を移動先として選んだ場合は、移動先として選んだタイトルの直後に選択したタイトルが移動します。

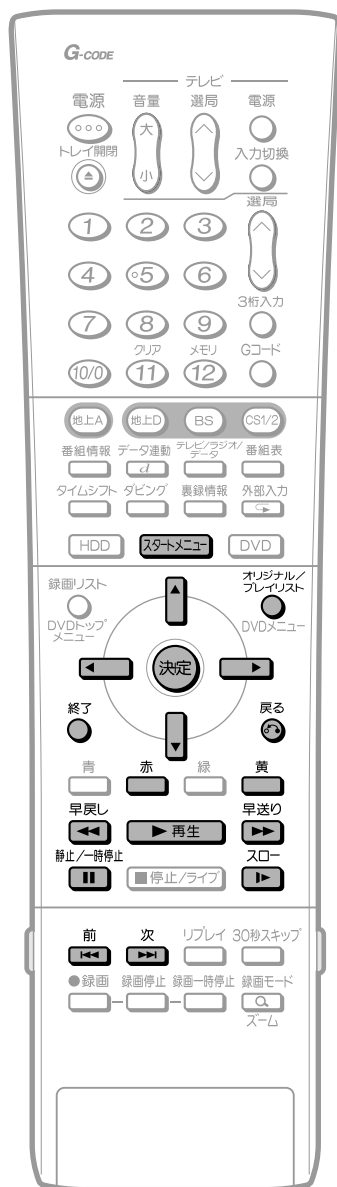
9 (終了) を押す

- 編集が終了します。

移動のしかた

例）タイトル3を選んでいて、移動先カーソルをタイトル1にした場合は、1の前に3のタイトルが移動します。

例）タイトル3を選んでいて、移動先カーソルをタイトル4にした場合は、4の後に3のタイトルが移動します。

「オリジナル」の編集と共通する操作

いらないシーンを消去する（シーン消去）

いらないシーンを選んで消去できます。プレイリストでシーン消去しても、オリジナルの映像に影響はありません。

1

① **94ページの手順1～3を行う**

② **オリジナル／プレイリスト を押して、プレイリスト画面に切り換える**

- プレイリストの画面リストになります。

2

オリジナルのシーン消去と同じ操作で、94ページの手順4から操作して、シーンを消去する

インデックス画面を変更する

HDD HD/SD | **HDD VR** | **DVD RW VRフォーマット** | DVD RW ビデオフォーマット | DVD R | DVD VIDEO | 音楽用CD ビデオCD

録画リストで表示されるタイトル画像を、タイトル内の好きなシーンに変えることができます。

1 ① **96ページの手順1～3を行う**

② オリジナル/プレイリスト **を押して、プレイリスト画面に切り換える**

• プレイリストの画面リストになります。

2 オリジナルのインデックス画面変更と同じ操作で、96ページの手順4から操作して、インデックス画面を変更する

タイトルの途中に区切りを作る（チャプター分割）

HDD HD/SD | **HDD VR** | **DVD RW VRフォーマット** | DVD RW ビデオフォーマット | DVD R | DVD VIDEO | 音楽用CD ビデオCD

一つのタイトルをいくつかのチャプターに分割することができます。チャプター単位の編集やダビングがより便利になります。

1 ① **98ページの手順1～3を行う**

② オリジナル/プレイリスト **を押して、プレイリスト画面に切り換える**

• プレイリストの画面リストになります。

2 オリジナルのチャプター分割と同じ操作で98ページの手順4から操作して、チャプターを分割する

チャプターどうしをつなげる（チャプター結合）

HDD HD/SD | **HDD VR** | **DVD RW VRフォーマット** | DVD RW ビデオフォーマット | DVD R | DVD VIDEO | 音楽用CD ビデオCD

となり合った二つのチャプターをつなげて、一つのチャプターにすることができます。

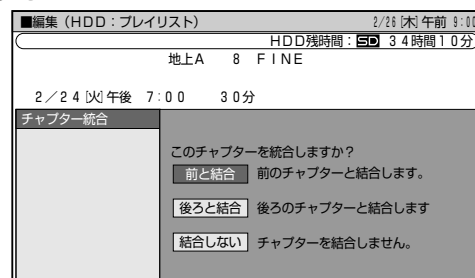
おしらせ

• シーン消去した際に自動的に記録されたチャプターやプレイリストのシーン追加で記録されたチャプターは、結合できません。

1 ① **99ページの手順1～3を行う**

② オリジナル/プレイリスト **を押して、プレイリスト画面に切り換える**

• プレイリストの画面リストになります。

2 オリジナルのチャプター分割と同じ操作で99ページの手順4から操作して、チャプター結合をする

他の機器を接続する

i.LINK(TS)接続をする

i.LINK(アイリンク)について

- i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
  i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

おしらせ

- i.LINK機器は、ディジーチェーン(連鎖)接続およびツリー接続ができます。
  (ループ接続はできません。)

本機にi.LINK(TS)接続できる機器について

- 本機のハードディスク(HDD)に録画したタイトルをi.LINK機器に出力することができます。接続できる機器は、D-VHSビデオデッキです。
- 接続したi.LINK機器との相性により、正しく動作しない場合があります。これにより、万一録画·録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

i.LINK(TS)接続で録画できる映像について

- 本機からi.LINK(TS)出力して録画できる映像は、次の通りです。
  ー「デジタル放送の「1回だけ録画可能」のタイトル」「「録画可能」のタイトル」
- 本機に録画したタイトルは、「録画可能」のタイトルに限りi.LINK機器にダビングできます。
  「1回だけ録画可能」のタイトルは、本機からi.LINK機器への「移動※」(本機のハードディスク(HDD)からは消去)となります。
  ※1回だけ録画可能のタイトルはダビング操作でのみi.LINK機器へ移動できます。
- 本機で編集したタイトルをi.LINK機器へダビングし、i.LINK機器側で再生させたときは、編集地点がみだれる可能性があります。
- 機器との相性や録画状態によっては、正常に動作しない場合があります。
- 「1回だけ録画可能」の番組は、D-VHSにダビングすると「移動」(本機の映像は消去)されますので、あらかじめ録画可の番組で正常に動作するか確かめてからダビングすることをおすすめします。

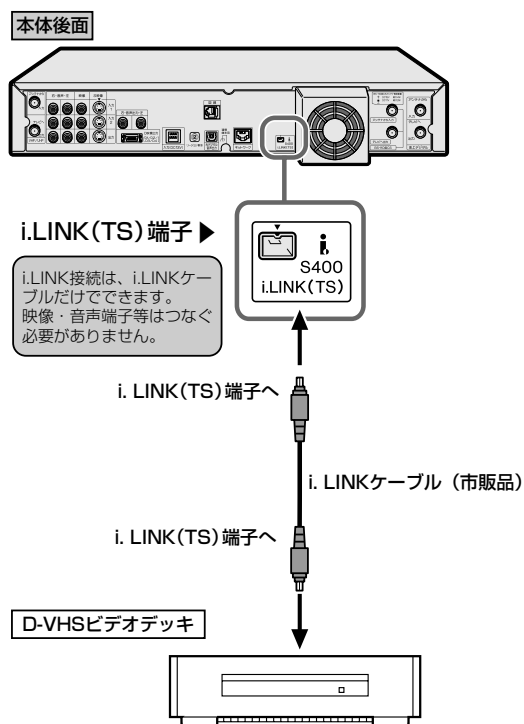
i.LINK(TS)接続でD-VHSから本機へ録画できる映像について

- i.LINK(TS)接続でD-VHSから本機へ録画できる映像はTS出力される映像です。
  (TSとはトランスポートストリーム(Transport Stream)の略で、多重信号形式の 1つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらずに共通の信号形式で扱い、1つのストリームとして伝送できるシステムのことです。)
- D-VHSから本機にTS出力で録画できる映像は「録画可能」の番組です。
- D-VHSに記録されている「1回だけ録画可能」「コピー禁止」「録画禁止」の映像は、本機で録画することができません。

おしらせ

- データ放送は録画できません。
- ラジオ放送はHDDにのみ録画できます。

i.LINK接続のしかた

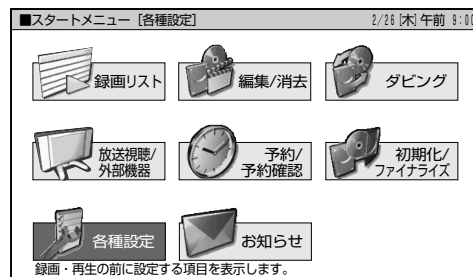
[例] i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)と接続するとき

複数のi.LINK機器を接続したとき

- 本機のDV入力端子とi.LINK(TS)端子の両方に、i.LINK機器(デジタルビデオカメラ・D-VHSビデオデッキ)を接続したときは、正しく動作しない場合があります。
  ー デジタルビデオカメラを使用したい場合
  接続しているD-VHSビデオデッキの電源を「切」にしてください。そのあとi.LINK(TS)操作パネルの「機器選択」より、「機器使用解除」を選択してから、デジタルビデオカメラを操作してください。i.LINK機器の選択は、**114**ページをご覧ください。
  ー D-VHSビデオデッキを使用したい場合
  接続しているデジタルビデオカメラの電源を「切」にしてからD-VHSビデオデッキを操作してください。
- 本機のi.LINK(TS)端子にディジーチェーン(連鎖)接続およびツリー接続したときに、正しく動作しない場合があります。そのような場合は、操作したい機器以外の電源を「切」にしてください。

本機のi.LINKカテゴリーを設定する

• i.LINK接続したときの本機のカテゴリーを設定します。ただし、本機をコントロールすることはできません。

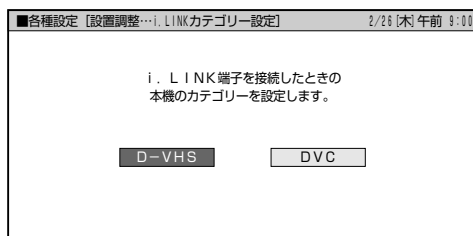
1 スタートメニュー を押し、スタートメニューを表示させる

2 ▲▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

3 ① ◀ ▶ で「設置調整」を選ぶ

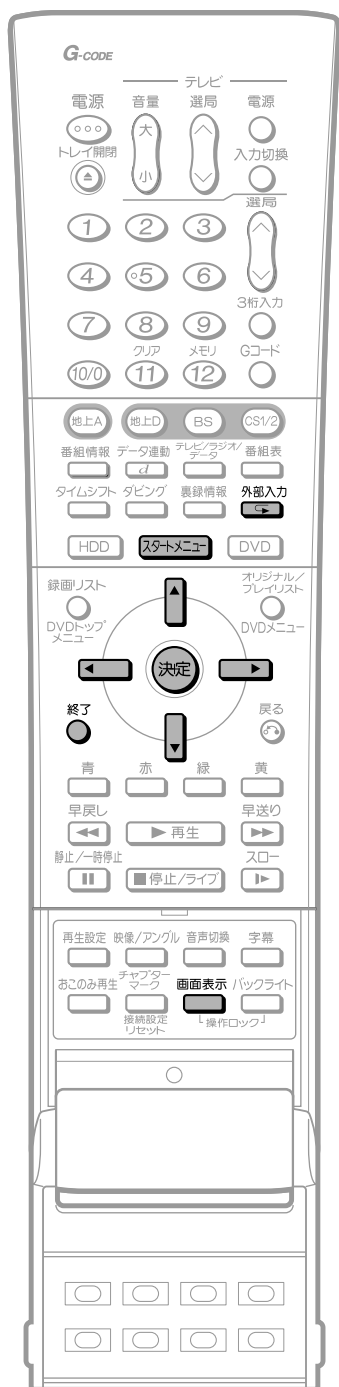
② ▲▼ で「i.LINKカテゴリー設定」を選び、

決定 を押す

4 ◀ ▶ で接続した機器を選び、決定 を押す

5 終了 を押し、終了する

基本操作

- i.LINK機器の操作は、i.LINK(TS)を選択し、テレビ画面にi.LINK操作パネルを表示させて行います。
- 接続したi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

扉内

■ リモコンの外部入力でi.LINK(TS)を選択する

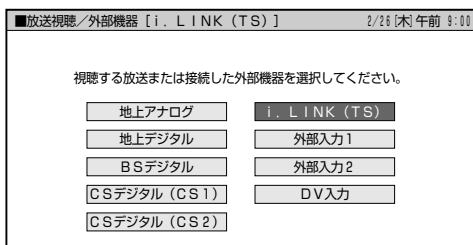
1 停止中に、リモコンの外部入力を何回か押す

- 押すたびに次のように外部入力が切り換わります。
  「L１」→「L２」→「DV」→「i.LINK(TS)」→「放送受信」→「L1」・・・
- i.LINK(TS)操作パネルが表示されます。
- 本体表示部に「i.LINK」が表示されます。

■ スタートメニューでi.LINK(TS)を選択する

1 スタートメニューを押す

2 ▲▼◀▶で「放送視聴／外部機器」を選び、決定を押す

3 ▲▼◀▶で「i.LINK(TS)」を選び、決定を押す

- i.LINK操作パネルが表示されます。

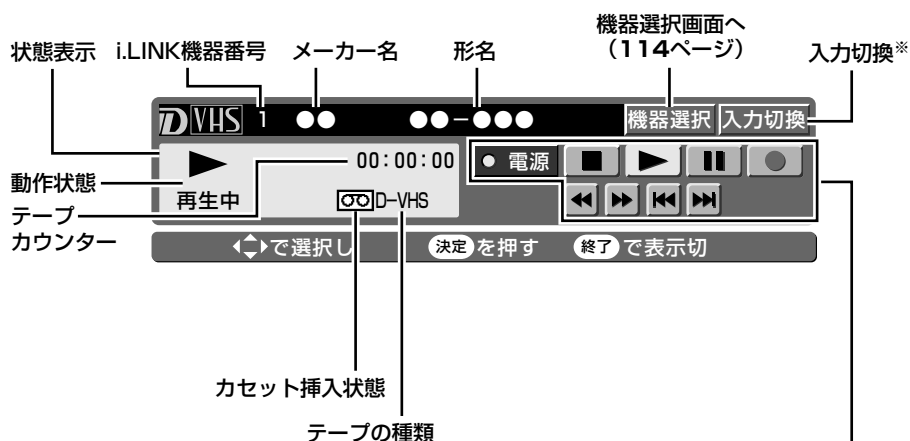
- 本体表示部に「i.LINK」が表示されます。
- i.LINK操作パネルの表示を消したいときは終了を押します。
- 再度表示させたいときは、画面表示を押します。

i.LINK操作パネルの使いかた

リモコンの ▲ ▼ ◀ ▶ (決定) を使って操作します。

おしらせ

- i.LINK接続したD-VHSビデオデッキからTS出力された信号を本機で録画しているときは、i.LINK操作パネルがロックされます。i.LINK操作パネルは、「表示」⟷「消し」以外の操作はできません。

i.LINK操作パネルの見かた

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できない場合があります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機のi.LINK操作パネルでD-VHSビデオデッキを接続したとき、機器によっては操作に対して反応が遅れたり、再生映像が出るまでに多少時間がかかる場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に(重ねて)表示することはできません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ(早送り／巻戻し)すると、画面がモザイク状に見える場合があります。
- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

i.LINK機器を選択する

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 現在接続されているi.LINK機器の中から使用する1台を選択します。
（本機には、i.LINK機器を最大16台まで接続できます。）

1 本機のi.LINK（TS）端子にi.LINK機器を接続する

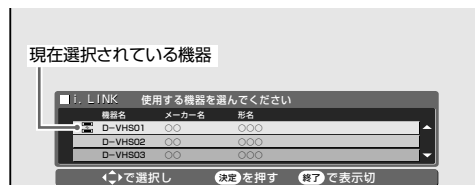
2 スタートメニューで「放送視聴／外部機器」を選び、決定を押す

3 ▲▼◀▶で「i.LINK（TS）」を選び、決定を押す

- リモコンの外部入力を押して「**i.LINK（TS）**」を選択することもできます。押すたびに次のように外部入力が切り換わります。
「L1」→「L2」→「DV」→「**i.LINK（TS）**」→「放送受信」→「L1」…

4 ▲▼◀▶で「機器選択」を選び、決定を押す

5 ▲▼で操作したい機器を選び、決定を押す

- 現在接続されている機器が表示されます。
（本機で使用できない機器は接続しても表示されません。）

- 決定を押すと、選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

i.LINK機器を操作する

- 本機からi.LINK機器へ映像·音声を出力し、i.LINK機器で録画できます。
- i.LINK機器から本機にi.LINK（TS）入力された再生画像を本機で見たり録画することができます。

1 i.LINK操作パネルでi.LINK機器を操作する

- ▲▼◀▶で操作パネル上のボタンを選んで決定を押すと、操作パネル上のボタンが働きます。

本機からi.LINK機器へ映像を出力するとき

- 本機のハードディスクに録画した番組をD-VHSビデオデッキに録画したいときは、ダビング操作をしてください。ダビングできるのは、ハードディスクにHD/SD録画した番組です。i.LINK機器へのダビングは、**72**ページをご覧ください。
- タイムシフト視聴中や再生中は、本機のi.LINK（TS）端子から信号は出力はされません。
- HDモードに対応していないD-VHSビデオデッキは、番組によって録画できないことがあります。

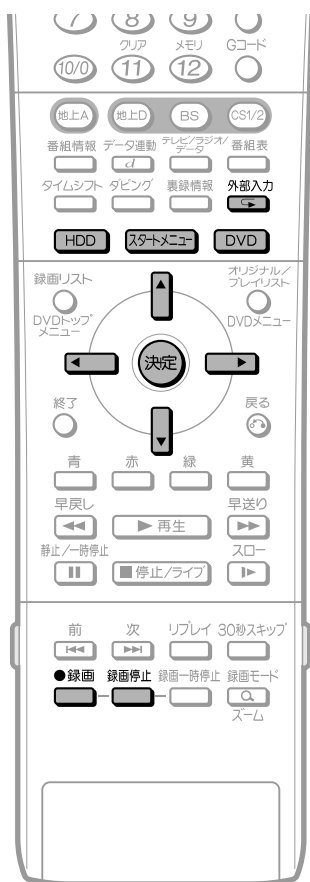
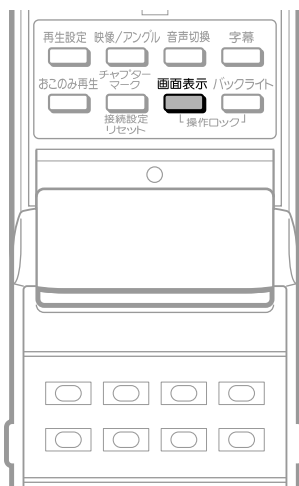
i.LINK機器から本機へ映像を入力するとき

- 機器の相性により、D-VHSビデオデッキの機種によっては、本機から低いビットレートの映像をダビングした場合、本機のi.LINK（TS）端子経由での再生映像が乱れる場合があります。

i.LINK機器から録画する

- D-VHSからi.LINK(TS)出力される映像を本機に入力し、本機で録画します。
- i.LINK機器の制御は、テレビ画面に表示させたi.LINK操作パネルで行います。

おしらせ

- D-VHSに記録されている「1回だけ録画可能」、「コピー禁止」の番組や「録画禁止」が含まれている番組は録画できません。
- i.LINK(TS)入力録画では、録画予約できません。
- ラジオ放送はDVDに録画できません。
- ラジオ放送をHDDに録画したときは、TS録画となります。
- データ放送は録画できません。

扉内

1 ① 本機のi.LINK(TS)端子にD-VHSを接続する

② HDDまたはDVDを押す

- 録画先を選んでください。

2 ① スタートメニューで「放送視聴／外部機器」を選び、決定を押す

② ▲▼◀▶で「i.LINK(TS)」を選び、決定を押す

- i.LINK操作パネルが表示されます。

- リモコンの外部入力を押して「i.LINK(TS)」を選択することもできます。押すたびに次のように外部入力が切り換わります。
  「L１」→「L２」→「DV」→「i.LINK(TS)」→「放送受信」→「L１」…
- 接続したD-VHSの機種名が表示されないときは、**111** ページの「i.LINK機器を選択する」の操作を行い、機器の選択をしてください。

3 D-VHSを再生する

- ▲▼◀▶で操作パネル上のボタンを選び、決定を押すと、操作パネル上のボタンが働きます。
- 画面に表示されている操作パネルを消すときは、リモコンの終了を押します。もう一度操作パネルを表示させるときは、画面表示を押します。

4 録画したいシーンで●録画を押す

- 本機で録画がはじまります。
- 録画ボタンは、D-VHSを5秒以上再生させてから押してください。「この番組は録画できません」と表示されたときは、もう一度録画ボタンを押してください。
- 録画中は操作パネルを使った操作ができません。(操作パネルの表示入／表示切のみ可能です。)

5 録画を終了するときは、録画停止を押す

おしらせ

取り込み中に下記のような状態になると、録画を停止します。また、異常な映像が記録されることがあります。

- 接続した機器が無録画部分を再生したとき
- 途中でi.LINKケーブルを抜いたり、D-VHSの電源を切ったりしたとき
- D-VHSの再生を一時停止、早送り／早戻しサーチしたとき
- D-VHSの再生を中止したとき
- D-VHSで再生している映像が乱れたとき
- D-VHSで再生している番組によっては、番組の切り替わり地点で録画が停止する場合があります。

デジタルビデオカメラとDV接続をする

DV入力について

- 本機とデジタルビデオカメラを接続して、デジタルビデオカメラの映像･音声を取り込むことができます。本機のリモコンで、デジタルビデオカメラをコントロールしながら録画することもできます。（DVリンク）。
- DV方式のデジタルビデオカメラとDVケーブルで接続すると、画質･音質の劣化が少ないデジタル信号による録画･編集ができます。
- デジタルビデオカメラから本機へは、「DVC-SD方式」の信号が入力できます。

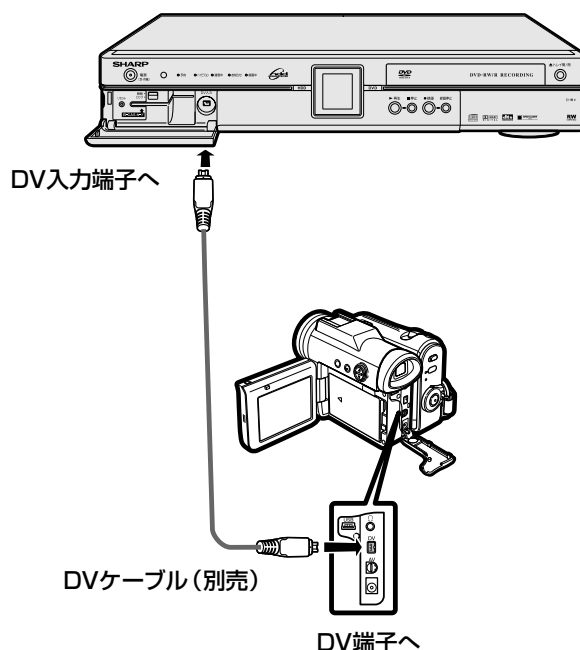
映像・音声・データの入力について

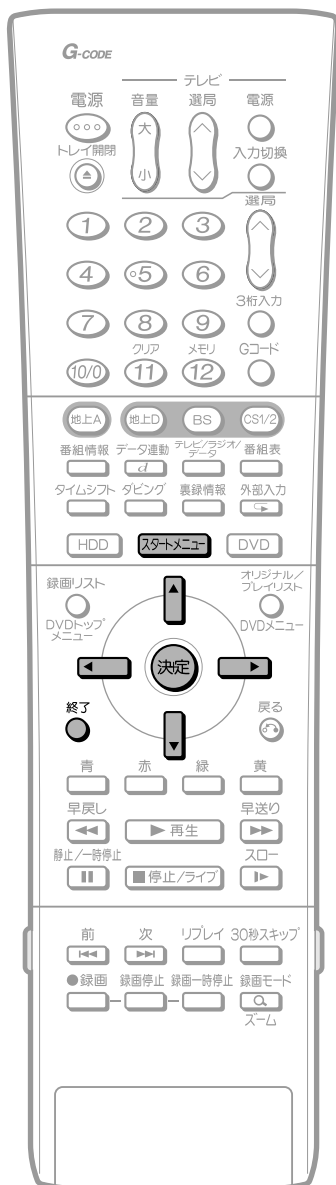
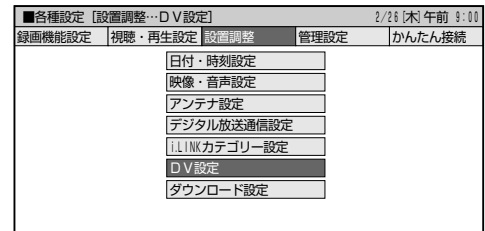
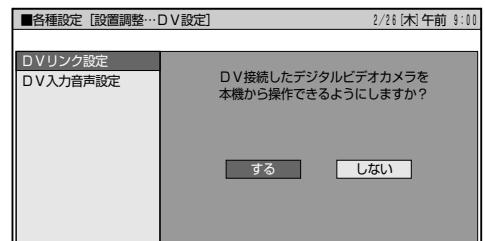
- 日付、時間の情報、カセットメモリの内容を本機で記録することはできません。
- 「録画禁止」の映像･音声は録画できません。

デジタルビデオカメラから入力される音声について

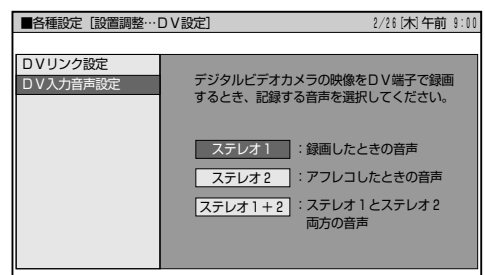
- デジタルビデオカメラは一般に、以下の2つの音声モードを持っています。
  「16bit(48kHz)」
  高音質ですが、1つのステレオ音声しか扱えません。
  「12bit(32kHz)」
  2つのステレオ音声を扱えます。一般に、ステレオ2にはアフレコ音声が記録されます。
- 本機では、44.1kHzの入力音声は扱えません。

接続に関するご注意

- 本機とデジタルビデオカメラを接続するときは、デジタルビデオカメラの電源を「再生（ビデオ側）」にして、停止状態で行ってください。電源が「撮影（カメラ側）」の場合やテープを再生した状態でDV接続したときは、DVリンクが正しく働きません。
- 本機にDV接続できるのはデジタルビデオカメラ1台のみです。
- 本機とビデオカメラは直接接続してください。
  DV入力端子付き機器を経由して本機にデジタルビデオカメラを接続した場合は、本機にDV信号が入力されません。
  またDVリンクも働きません。
- DV入力端子で本機を2台接続しても、もう一方を操作することはできません。
- デジタルビデオカメラによっては、信号の入力や本機からの操作ができない場合があります。
- デジタルビデオカメラによっては、本機に信号が入力されない場合があります。そのようなときは、アナログ接続（**119**ページ）を行ってください。（シャープ製ビデオカメラVL-DC3をご使用の場合は、アナログ接続してください。）
- DVリンク設定が「する」でも本機のリモコンで操作できないデジタルビデオカメラもあります。そのようなときは「DVリンク設定」を「しない」にしてください。（**117**･**141**ページ）
- 本機のDV端子とi.LINK（TS）端子の両方に、i.LINK機器（デジタルビデオカメラ･D-VHS）を接続した状態では通信できない場合があります。通信できないときは、使用しない機器の接続を外してください。
- デジタルビデオカメラから本機を操作することはできません。

「DV取込」ができるように設定する

- 本機からデジタルビデオカメラを操作してDV取込をするためには、次の設定が必要です。
  「DVリンク設定」
  DV入力機器とのリンクを「する」か「しない」かを選びます。「する」に設定した場合、「DV」選択時にDV操作パネルが表示され、デジタルビデオカメラの操作ができます。
  「DV入力音声設定」
  本機に取り込む音声を選びます。「ステレオ1」「ステレオ2」「ステレオ1+2」から選びます。

1
① スタートメニューで「各種設定」を選び、決定を押す
② ◀ ▶ で「設置調整」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「DV設定」を選び、決定を押す

2
① ▲ ▼ で「DVリンク設定」を選び、決定を押す
② ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

3
① ▲ ▼ で「DV入力音声設定」を選び、決定を押す
② ▲ ▼ で音声を選択し、決定を押す

4
終了を押し、終了する

次ページへつづく ▶▶▶

DV取込をする

- デジタルビデオカメラの映像を本機に入力し、本機で録画します。
- デジタルビデオカメラの制御は、テレビ画面に表示させた操作パネルで行います。（DVリンク設定「する」のとき。）
- あらかじめスタートメニューで「DVリンク設定」と「DV入力音声設定」（**141**・**142**ページ）の設定を行ってから録画してください。

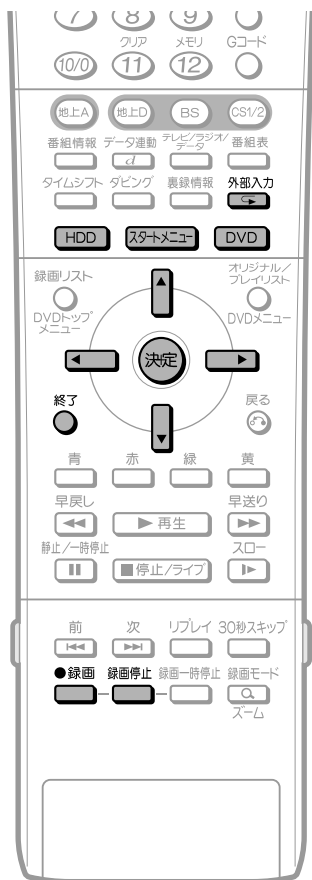
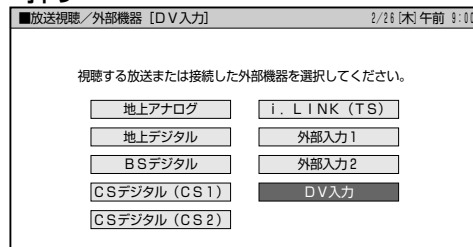
おしらせ

- コピーガードが含まれている映像は録画できません。

1 ① 本機のDV入力端子にデジタルビデオカメラを接続する

- デジタルビデオカメラの電源を「ビデオ（再生）」にして、「停止」状態で接続してください。

② HDDまたはDVDを押す

- 録画先を選んでください。

2 ① スタートメニューで「放送視聴／外部機器」を選び、決定を押す

② ▲▼◀▶で「DV入力」を選び、決定を押す

- 操作パネルが表示されます。（DVリンク設定「する」のとき。）
- リモコンの外部入力を押してDV入力を選択することもできます。押すたびに次のように外部入力が切り換わります。「L1」→「L2」→「DV」→「i.LINK（TS）」→「放送受信」→「L1」…
- DV入力を選択すると、本体表示部に「DV」が表示されます。

3 デジタルビデオカメラを再生する

- DVリンク設定「する」のときは、▲▼◀▶で操作パネル上のボタンを選び、決定を押すと、操作パネル上のボタンが働きます。
- DVリンク設定「しない」のときは、デジタルビデオ側で操作してください。

DVコントロールパネル

再生するときは操作パネルの▶を選ぶ

- 次のボタンが使用できます。
「停止」「再生」「早送り」「巻き戻し」「一時停止」「送スロー」「戻スロー」「コマ送り」「コマ戻し」
- 画面に表示されている操作パネルを消すときは、リモコンの終了を押します。もう一度操作パネルを表示させるときは、画面表示を押します。

4 録画したいシーンで●録画を押す

- 本機で録画がはじまります。

5 録画を終了するときは、録画停止を押す

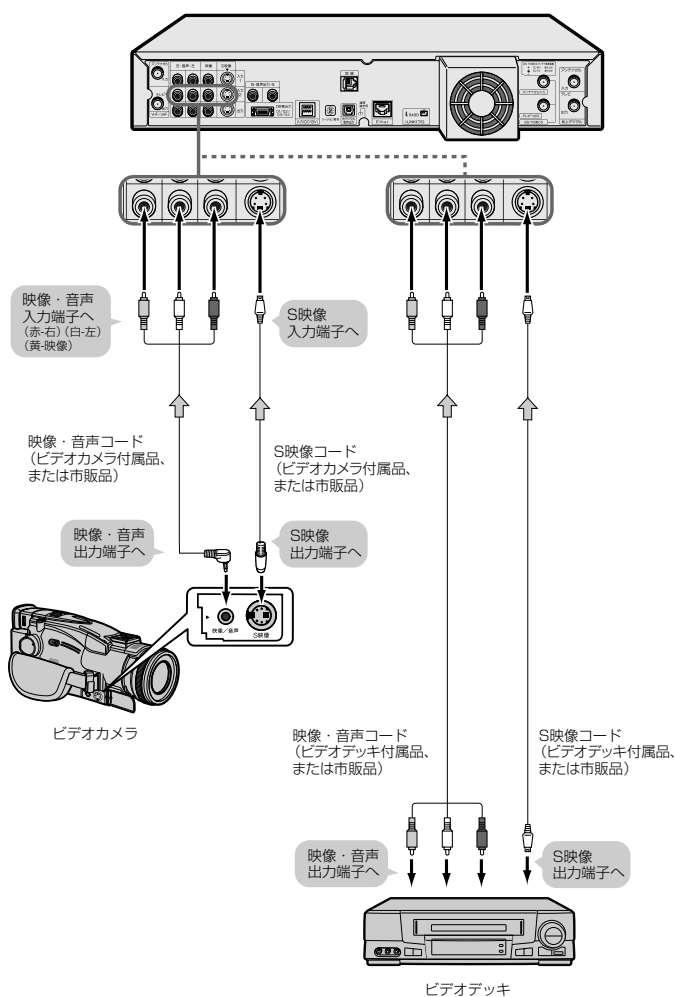
おしらせ

取り込み中に下記のような状態になると、異常な映像が記録されることがあります。
- 接続した機器が無録画部分を再生したとき
- 途中でDVケーブルを抜いたり、ビデオカメラの電源を切ったりしたとき
- デジタルビデオカメラの再生を中止したとき

アナログ接続で本機に映像を取り込む

- 本機とビデオカメラをアナログ接続して、ビデオカメラの映像を本機で録画することができます。
  （DV端子のついているデジタルビデオカメラと接続するときは、DV入力端子接続をおすすめします。**116**ページをご覧ください。）
- 本機とビデオデッキを接続して、VHSビデオなどの映像を取り込むことができます。
- 本機と外部チューナーを接続して、外部チューナーで受信した映像を録画することができます。

おしらせ

- コピーガード信号が入っている映像は録画できません。視聴のみ行う場合でも、正しい映像が得られないことがあります。（**7**・**11**ページ）
- 外部機器の映像を本機に入力したとき、外部機器の映像を直接テレビで見たときと本機の外部入力で見たときとでは、画質に多少差が生じます。
- ビデオカメラやビデオデッキとの接続のしかたは、接続する製品によって異なります。接続する製品の取扱説明書もご覧ください。

1 ① 本機の「入力1」または「入力2」端子に、外部機器を接続する

② HDD または DVD を押す

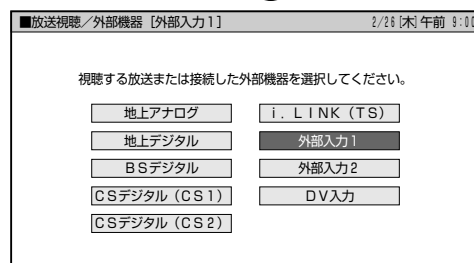
- 録画先を選んでください。

2 外部入力の音声を選ぶ

■ 「外部入力音声設定」（**132**ページ）で外部入力音声を設定します。

- CS放送やWOWOW放送の二重音声放送番組を録画する場合は、外部音声として「二ヶ国語」を選びます。

3 ① スタートメニューで「放送視聴／外部機器」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「外部入力1」または「外部入力2」を選び、決定 を押す

4 接続した機器を再生する

5 録画したいシーンで ●録画 を押す

- 本機で録画が始まります。

6 録画を終了するときは、録画停止 を押す

編集する

他の機器を接続する　つづき

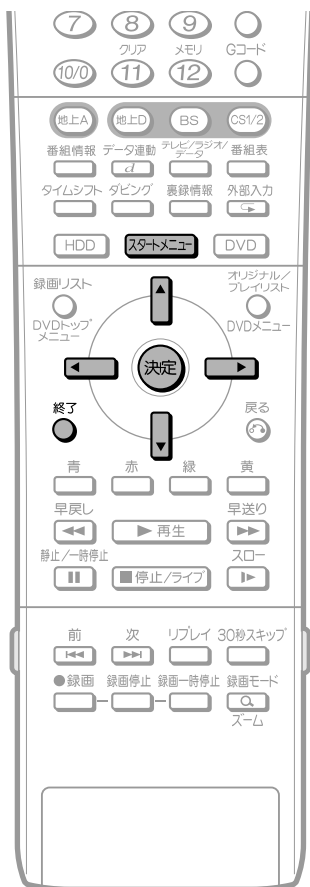
光デジタル音声出力端子に接続する

- 本機の光デジタル音声出力端子は、MPEG-2 AAC、DTS、ドルビーデジタル音声フォーマットを出力することができます。AAC対応のオーディオ機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声でお楽しみいただけます。
- 接続のしかたについて詳しくは、1. 接続・準備編 27ページをご覧ください。
  また、接続するオーディオ機器の取扱説明書もご覧ください。

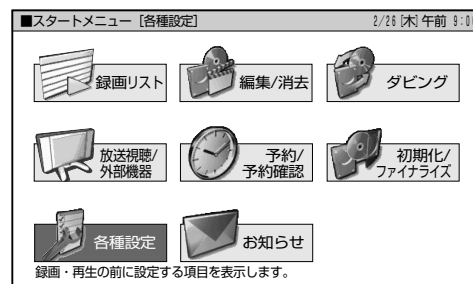
オーディオ機器について

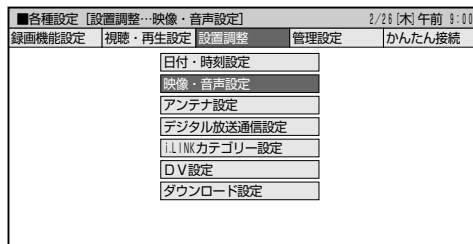
- デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、48kHzの両方に対応したデジタル入力端子付きオーディオ機器に限ります。
  例） MDプレーヤーの場合:
  サンプリングレートコンバータ内蔵型

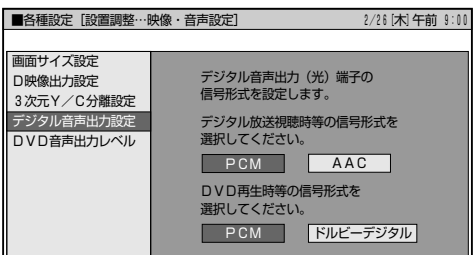
おしらせ

- 接続する前に本機とオーディオ機器の電源を切ってください。
- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により録音が制限されている場合があります。

デジタル音声出力の設定をする

- 接続するオーディオ機器に合わせて、光デジタル音声出力端子から出力される信号の形式を選択することができます。

1 スタートメニュー を押し、スタートメニューを表示させる

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

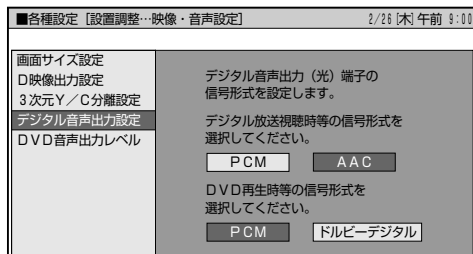
3 ① ◀ ▶ で「設置調整」を選ぶ
② ▲ ▼ で「映像・音声設定」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「デジタル音声出力設定」を選び、決定 を押す

次ページの手順 5 へつづく

5 ◀▶でデジタル放送視聴時の信号形式を選び、(決定)を押す

「PCM」

AACに対応していないオーディオ機器（例:MDプレーヤー、MDコンポなど）を接続するときに選びます。

「AAC」

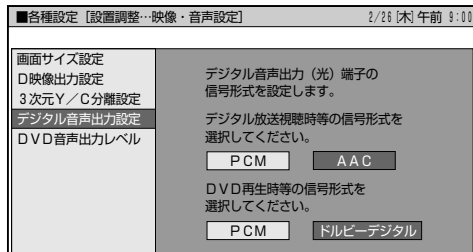
AAC対応のAVアンプなどを接続するときに選びます。

- ハードディスク（HDD）に録画したデジタル放送の番組を再生するときも、この設定が有効となります。

① ◀ ▶ で信号形式を選ぶ

「PCM」

AACに対応していないオーディオ機器（例:MDプレーヤー、MDコンポなど）を接続するときに選びます。

「ドルビーデジタル」

ドルビーデジタルサラウンド対応のアンプなどを接続するときに選びます。

② (決定) を押す

- 手順**4**の画面に戻ります。

(終了)を押し、終了する

おしらせ

- 接続するオーディオ機器がPCM／AACの自動切換えに対応していない場合は、オーディオ機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「PCM」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の一部の音声が出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の音声が出力されません。

ディスクを管理する

タイトル名を入力／変更する

タイトル名を入力／変更する（タイトル名変更）

- 録画時に付いたタイトル名は、自由に変更することができます。
- 最大32文字まで入力できます。
  入力は、「変更する文字の選択」→「不要な文字（変更する文字）の削除」→「新しい文字の入力」という流れで行います。

おしらせ

- ファイナライズしたビデオフォーマットのディスクは、タイトル名変更ができません。

操作を始める前に

- 操作したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

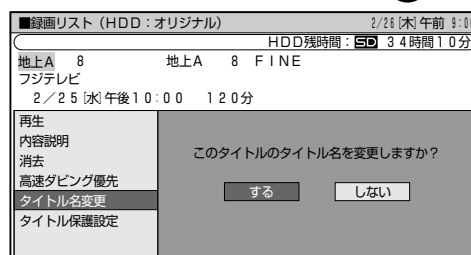
1 録画リスト を押す
- 録画リスト画面になります。

2 ▲▼ ◀ ▶ で変更したいタイトルを選ぶ

3 黄（機能メニュー）を押す

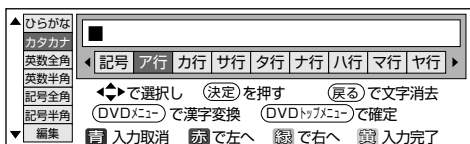
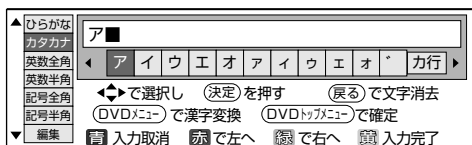
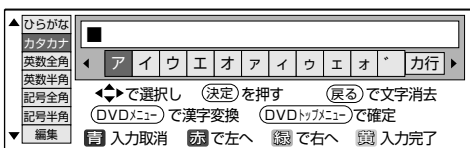
4 ▲▼ で「タイトル名変更」を選び、決定 を押す

5 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

次ページの手順 6 へつづく

6 タイトル名を変更する

- 文字入力のしかたについて、ここでは簡単な説明のみ記載しています。

7

① [▲][▼] で「文字モード」（カタカナ、英数全角など）を選ぶ
② [◀][▶] で「文字グループ」（ア行、カ行など）を選び、(決定) を押す

③ [◀][▶] で入力する文字を選び、(決定) を押す

- キーボード内に、決定した文字が表示されます。
- 続けて手順**7**の①～③を行い文字を入力します。
- 文字グループを変更したいときは文字候補の先頭または最後で[◀] または[▶] を押します。
- 文字モードを変更するときは[▲][▼] を押します。

8 だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

① ひらがな（例:「は」）を入力する
② [◀][▶] で「゛」または「゜」を選び、(決定) を押す

9 スペース（空白）を入力する

[◀][▶] で文字グループから「空白」を選び、(決定) を押す

- 続けて手順**7**の①～③を行い、文字を入力します。

10 漢字に変換する

① ひらがなを入力する
② (DVDメニュー) を押す
③ [▲][▼] で変換候補を探す
④ (決定) を押す
⑤ 漢字変換が完了したら (DVDトップメニュー) を押し、確定する

11 入力が終了したら、(黄)（入力完了）を押す

- 新しいタイトルが確定し、手順**4**の画面に戻ります。

12 (終了) を押して、録画リスト画面を終了する

文字入力のしかたについて詳しくは、[1. 接続・準備編] の**98**ページをご覧ください。

ディスクを管理する

タイトル名を入力／変更する

タイトルやディスクを保護する

タイトルの編集・消去を不可にする(タイトル保護設定)

HDD HD/SD　HDD VR　DVD RW VRフォーマット　DVD RW ビデオフォーマット　DVD R　DVD VIDEO　音楽用CD ビデオCD

誤ってタイトルの内容を変更･消去しないように、編集･消去ができないようにします。
編集途中のディスクを安全に保管することができます。

- プレイリスト（**100**ページ）で作成したタイトルは、保護できません。

操作を始める前に

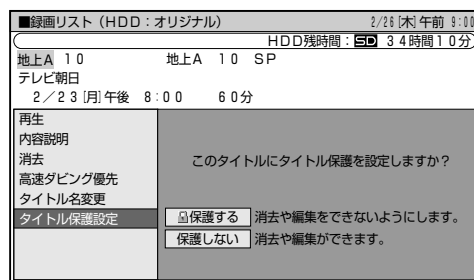
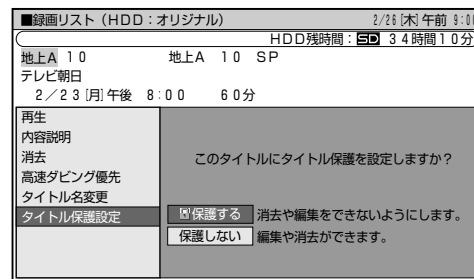
- 操作したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

1 録画リストを押す

- 録画リスト画面になります。

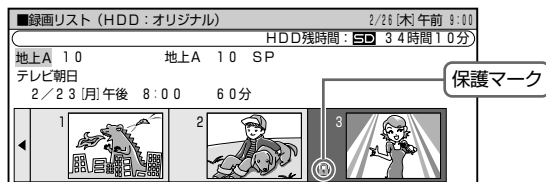
2 ▲▼◀▶で保護したいタイトルを選ぶ

3 黄（機能メニュー）を押す

4 ▲▼で「タイトル保護設定」を選び、決定を押す

5 ▲▼で「保護する」を選び、決定を押す

6 終了を押す

- 録画リストが終了します。

保護マーク「」について

- タイトル保護を設定したタイトルには、録画リスト表示させたとき保護マーク「」が付きます。

タイトル保護を解除するときは

手順**1**〜**4**を行い、**5**で「保護しない」を選び、決定を押す

ディスクの編集・消去を不可にする（ディスク保護・解除）

HDD HD/SD | HDD VR | **DVD RW VRフォーマット** | DVD RW ビデオフォーマット | DVD R | DVD VIDEO | 音楽用CD ビデオCD

• ディスク全体の内容を保護したいときに設定します。

操作を始める前に

• DVDに切り換えます。

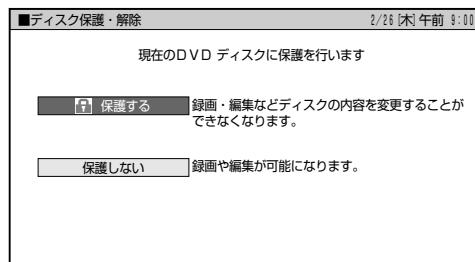
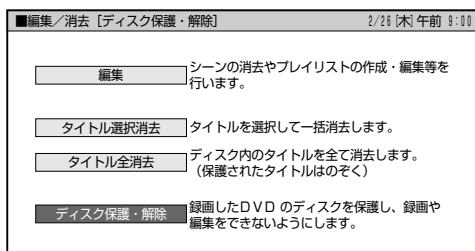
1 スタートメニュー を押す

2 ▲▼◀▶ で「編集・消去」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「ディスク保護・解除」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「保護する」を選び、決定 を押す

5 「確認」で 決定 を押す

6 終了 を押し、終了する

ディスク保護を解除するときは

手順**1**〜**3**を行い、**4**で「保護しない」を選び、 を押します。

タイトルを消去する

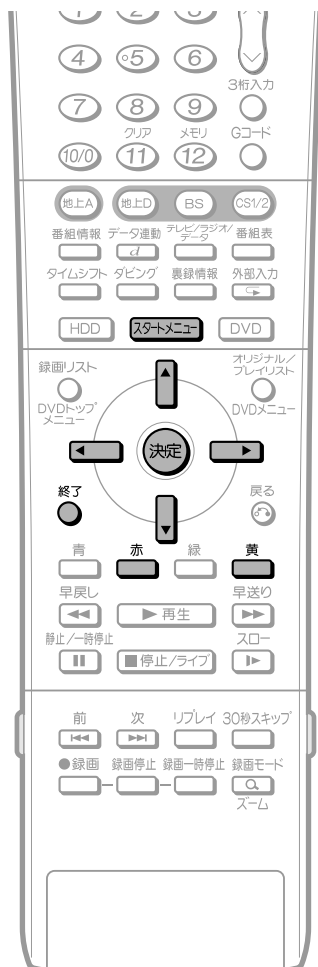
タイトルを全て消去する

HDD HD/SD　HDD VR　　　DVD R　DVD VIDEO　音楽用CD ビデオCD

HDDまたはDVD-RWの内容を全て消去します。（タイトル保護が設定されているタイトルを除く）
消去できるのは次の通りです。

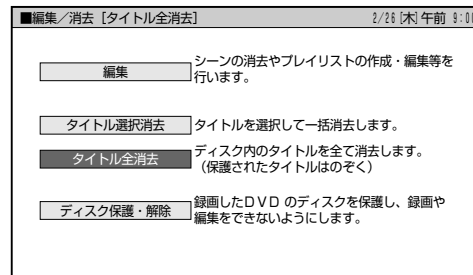
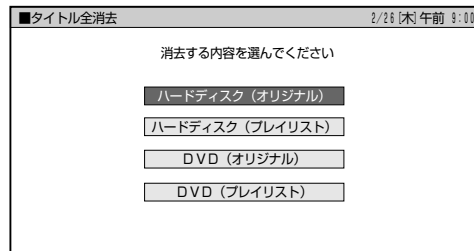
- **ハードディスク（オリジナル）：**
  HDDに録画したタイトルを全て消去します。オリジナルを消去すると、プレイリストも消去されます。
- **ハードディスク（プレイリスト）：**
  HDDに作成したプレイリストを全て消去します。プレイリストを消去しても、オリジナルのタイトルは消去されません。
- **DVD（オリジナル）：**
  DVDに録画したタイトルを全て消去します。オリジナルを消去すると、プレイリストも消去されます。
- **DVD（プレイリスト）：**
  DVDに作成したプレイリストを全て消去します。プレイリストを消去しても、オリジナルのタイトルは消去されません。

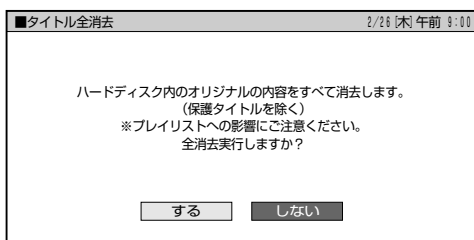
おしらせ

- ビデオフォーマットのディスクをファイナライズすると、タイトル全消去ができなくなります。

操作を始める前に

- 操作したいドライブ（HDDまたはDVD）に切り換えます。

1 スタートメニューで「編集／消去」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「タイトル全消去」を選び、

3 ▲▼で項目を選び、決定を押す

4 ◀を押して「する」を選ぶ

- よく確認してから消去を実行してください。
- 「しない」を選んで決定すると、手順**3**の画面に戻ります。

5 決定を押す

6 「確認」で決定を押す

- タイトル（またはプレイリスト）がすべて消去され、手順**3**の画面に戻ります。

7 終了を押して終了する

タイトル(またはチャプター)を選んで消去する

HDD HD/SD　HDD VR　DVD RW VRフォーマット　DVD RW ビデオフォーマット　DVD R 音楽用CD ビデオCD

消去したいタイトルを選び、一括して消去できます。

- **オリジナルタイトルを消去するとき:**
  オリジナルタイトルを消去すると、プレイリストからも消去したタイトルのシーンが消去されます。
- **プレイリストを消去するとき:**
  プレイリストを消去しても、オリジナルタイトルは消去されません。

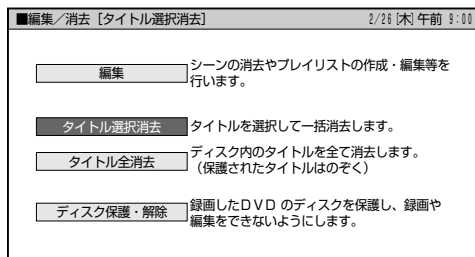
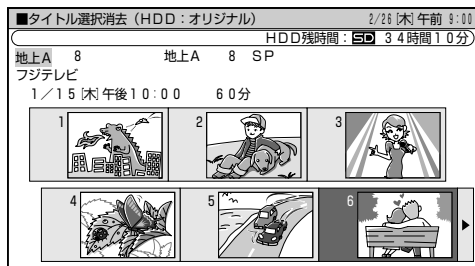
おしらせ

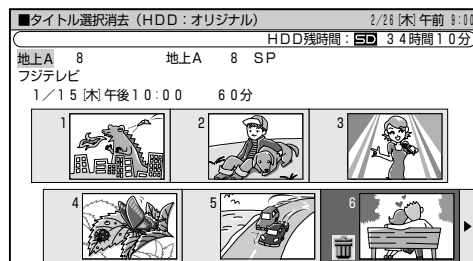
- 一度に選べるタイトル(チャプター)は、最大20タイトル(チャプター)です。
- ビデオフォーマットディスクをファイナライズすると、タイトル選択消去ができなくなります。
- DVD-RW/R(ビデオフォーマット)ではチャプターを消去することができません。

操作を始める前に

- **操作したいドライブ(HDDまたはDVD)に切り換えます。**

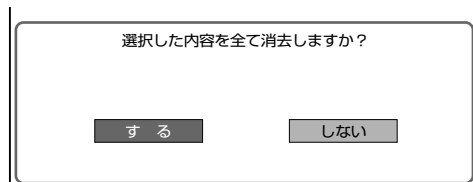
1 スタートメニューで「編集／消去」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「タイトル選択消去」を選び、決定を押す

3 ▲▼◀▶で消去したいタイトルを選ぶ

- 赤(**チャプター単位**)を押すと、チャプター一覧になりチャプターの選択消去ができます。

4 決定を押す

- 🗑マークが付きます。
- もう一度決定を押すと、選択が解除できます。
- 他にも消去したいタイトル(チャプター)があれば、▲▼◀▶で選び、決定を押します。

5 黄(消去実行)を押す

6 ◀を押して「する」を選ぶ

- 一度消去したタイトル(チャプター)は元に戻りません。よく確認してから消去を実行してください。
- 「しない」を選んで決定すると、手順**4**の画面になります。

7 決定を押す

- 選んだタイトル(チャプター)がすべて消去されます。

8 終了を押して終了する

おしらせ

- 消去したオリジナルのシーンがプレイリストにも含まれている場合は、プレイリストからもそのシーンは消去されます。(このようなときは、プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。)

初期化／ファイナライズをする

初期化する

DVD-RWに録画する前に、VRフォーマット、またはビデオフォーマットで初期化してください。
HDDの初期化もできます。HDDの初期化は、大切なタイトルをDVD-RW/Rにダビングしてから行ってください。

ファイナライズする

録画したDVD-RW/Rを、他の機器でも再生できるようにします。

初期化

初期化	説明	設定
初期化	**DVD初期化（VR）** • DVD-RWを使いVRフォーマットで録画するときは、録画を始める前にVRフォーマットの初期化を行います。 （録画済みディスクの内容を全て消去したいときなどに行います。ディスクの内容を誤って消去しないように中身を確認してから行ってください。） • 「DVDディスク保護」が設定されているときは、初期化できません。（**125**ページ）	する しない ⇩ はい いいえ
	DVD初期化（ビデオ） • DVD-RWを使いビデオフォーマットで録画するときは、録画を始める前にビデオフォーマットの初期化を行います。 録画済みディスクの内容を全て消去したいときなどに行います。（DVD-Rではできません。） • DVD-RW Ver1.0のディスクは、ビデオフォーマットでの初期化はできません。	する しない ⇩ はい いいえ
	ハードディスク初期化 • HDDエラーのメッセージが表示された場合や、HDD内を購入時の状態に戻したい場合に、HDDを初期化します。録画された映像はすべて消去されます。（HDDの全消去の場合は保護されたタイトルは残りますが、初期化の場合は全てのタイトルが消去されます） 大切なタイトルはDVDにダビングしてからHDDの初期化を行ってください。 • 「ハードディスク初期化」で「はい」を選んでHDDを初期化すると、初期化終了後に自動的に本機の電源が切れます。	する しない ⇩ はい いいえ

ファイナライズ

ファイナライズ	説明	設定
DVDファイナライズ	**ファイナライズ実行** • VRフォーマットまたはビデオフォーマットのディスクを他の機器で再生したいときに行います。 ビデオフォーマットのディスクをファイナライズをすると、追加録画ができなくなります。 （DVD-RWディスクは、ファイナライズ解除をするとふたたび追加録画することができます。DVD-Rディスクは、ファイナライズ解除ができませんので、一度ファイナライズをすると追加録画はできません。） • ファイナライズは数分から約1時間かかります。（残量が多いほど時間がかかります。） ファイナライズ中は、電源を切る、ディスクを取り出す、などすべての操作ができなくなります。 • ファイナライズ中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。ディスクが使用できなくなる場合があります。	する しない
	ファイナライズ解除 • ファイナライズされたビデオフォーマットのDVD-RWディスクを、再び録画できるようにする設定です。	する しない

初期化／ファイナライズの基本操作

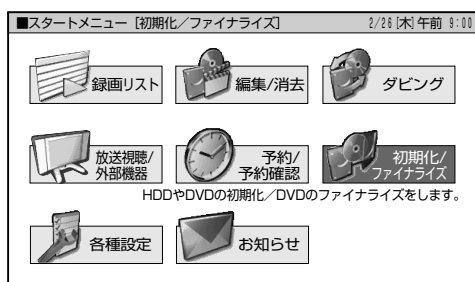
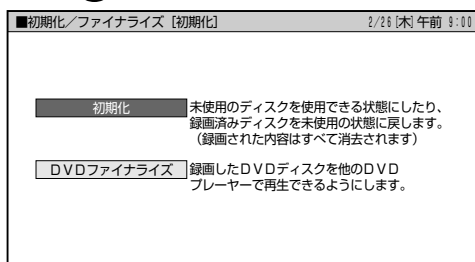
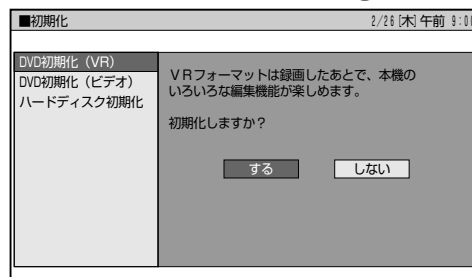
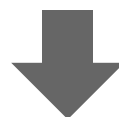
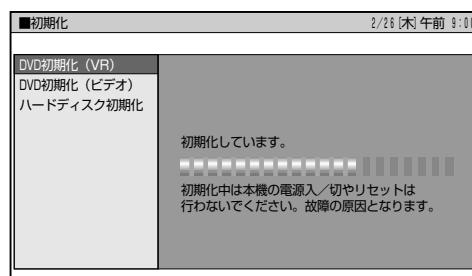
例:「DVD初期化（VR）」をする

1 ① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面にする
② ▲▼◀▶で「初期化/ファイナライズ」を選び決定を押す

2 ▲▼で「初期化」または「DVDファイナライズ」を選び決定を押す

3 ▲▼で実行する項目を選び、決定を押す

4 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

5 ① ◀▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

② 決定を押す
- 手順**3**の画面に戻ります。

6 終了を押して終了する

- ファイナライズの処理には数分から約1時間必要です。（DVDディスクの空き容量が多い場合やタイトル数が多い場合は、処理に時間がかかります。）

各種設定をする

スタートメニューの「各種設定」で設定できること

- 録画や再生、本機の設置など、本機をより活用していただくための各種設定について説明します。
- 項目ごとの詳しい内容と設定のしかたについては、それぞれの説明ページをご覧ください。

録画機能設定（132ページ）

番組を録画するときに必要な設定をします。

●録画モード設定
●音声記録方式設定
●デジタル放送録画設定
●外部入力音声設定
●二ヶ国語音声設定
●オートチャプター設定
●高速ダビング設定
●代理録画設定
●DVD自動初期化設定

視聴・再生設定（134ページ）

放送を受信するために必要な設定や、再生をより楽しむための設定をします。

●デジタル放送視聴設定
●DVD再生設定
●チャンネル設定
●プログレッシブ出力設定
●シームレス再生設定
●画質調整
●暗証番号設定
●チャンネル表示設定
●タイムシフト視聴設定

設置調整（139ページ）

時計合わせや音声などの設定をします。

●日付・時刻設定
●映像・音声設定
●アンテナ設定
●デジタル放送通信設定
●i.LINKカテゴリー設定
●DV設定
●ダウンロード設定

管理設定（144ページ）

本体の設定をします。

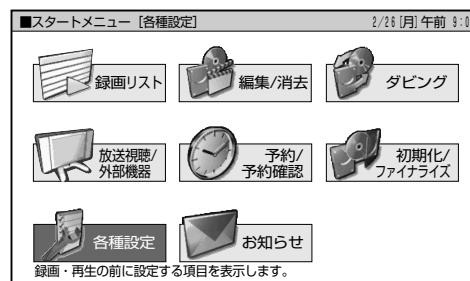
●無操作電源オフ設定
●液晶バックライト設定
●システム動作テスト
●システムリセット

かんたん接続

本機を初めてお使いになるときの設定をします。詳しくは 1. 接続・準備編 38ページをご覧ください。

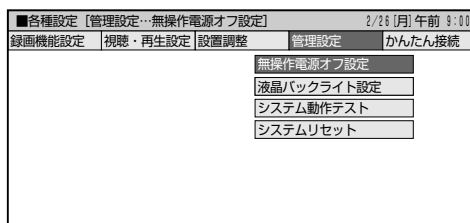
●ハイビジョン対応テレビ
●通常のテレビ
●オーディオ機器

各種設定の基本操作

1 スタートメニュー を押し、スタートメニューを表示させる

2 ▲▼◀▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

3 ◀▶ で設定したいカテゴリーを選ぶ

4 ▲▼ で設定したい項目を選び、決定 を押す

- 以下の画面は「管理設定」を選んだときの例です。

5 画面にしたがって、設定をする

操作のしかたは、それぞれのページをご覧ください。

録画機能設定

<table>
<tr><td>

録画モード設定

- リモコンの［録画モード］を押したときに設定できる「MN」モード（マニュアル録画モード）の設定です。「MN」でのレートを32段階の中から選択できます。
  詳しくは**40**ページをご覧ください。

</td><td>32段階（MN1～MN32）</td></tr>
<tr><td>

音声記録方式設定

- 録画モード「FINE」で録画するときの音声記録方式を選びます。
  - ● ドルビーデジタル2ch:
    - 音声をドルビーデジタル2チャンネル音声にして記録します。
  - ※● リニアPCM:
    - 録画モードを「FINE」に設定して録画したときに、高音質なPCM（非圧縮）音声にして記録します。
      （二重音声をリニアPCM記録するときは、DVD-RW（VRフォーマット）でも「二ヶ国語音声設定」で選んだ音声のみ記録されます。）
  - ※ 録画モードを「FINE」以外に設定して録画したときは働きません。
  - ※ ドルビーデジタル2chに設定して録画したFINEモードの画質より少し画質が落ちます。

</td><td>ドルビーデジタル2ch
リニアPCM</td></tr>
<tr><td>

デジタル放送録画設定

- デジタル放送をハードディスク（HDD）に録画するとき、デジタル放送をそのまま録画するか、任意の録画モードで録画するかを選ぶことができます。

●HD/SD録画
- デジタル放送をそのままの画質で録画できます。また、録画したタイトルをi.LINK（TS）ダビングできます。

●VR録画
- デジタル放送を任意の録画モードで録画することができます。プレイリスト編集や高速ダビングができるようになります。

</td><td>HD/SD録画
VR録画</td></tr>
<tr><td>

外部入力音声設定

- 外部機器から入力される音声を選びます。
  - ※ 二重音声を録画するときは、必ず「二ヶ国語」を選びます。「ステレオ」を選んで録画すると、再生時に主音声と副音声が重なって聞こえます。
  - ※ 「二ヶ国語」で録画すると、VRフォーマットでは再生時主音声と副音声を切り換えられます。ビデオフォーマットでは、「二ヶ国語音声設定」で設定している方の音声が記録されます。

</td><td>ステレオ
二ヶ国語</td></tr>
<tr><td>

二ヶ国語音声設定

- ハードディスク（HDD）に高速ダビング優先「する」で録画するとき、または、DVD-RW/Rにビデオフォーマットで二ヶ国語放送を録画（またはダビング）するときに、主音声を記録するか副音声を記録するかを選びます。

</td><td>主音声
副音声</td></tr>
<tr><td>

オートチャプター設定

- 録画するときに、自動的に入るチャプターの間隔を設定します。
- DVDにビデオフォーマットで記録したチャプターマークは、編集（**99**ページ）で結合することはできませんので、適切な間隔を選んでおいてください。

</td><td>10　（10分間隔）
15　（15分間隔）
30　（30分間隔）
－－　（切）</td></tr>
<tr><td>

高速ダビング設定

- HDDからDVDのビデオフォーマットに高速ダビングしたいときは、HDDに録画する前に「する」に設定します。
- フレーム単位の編集を行いたいときは、「しない」に設定します。詳しくは**67**ページの「「高速ダビング」を設定する」をご覧ください。

</td><td>する
しない</td></tr>
<tr><td>

代理録画設定

- DVD-RW/Rに予約録画するとき、ディスクの状態により録画できないときにHDDに代理で録画させる機能です。次のようなときに働きます。
  ※①ディスクの残量が足りなかった場合　③ディスクを入れ忘れていた場合
  ②録画不可のディスクが入っていた場合　④予約開始2分前までディスク再生中だった場合
  ※①の場合はHDDの残量の方が少ないと、そのままDVDに録画します。

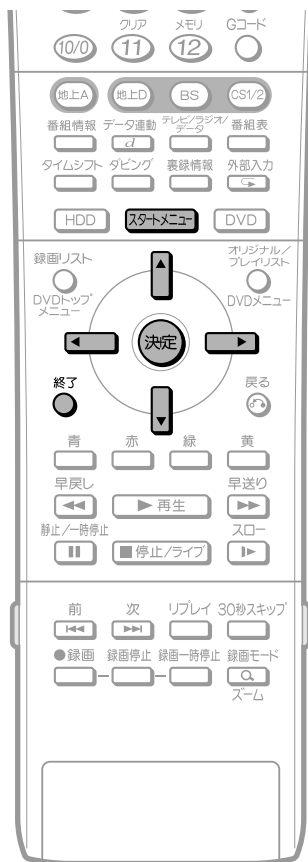
</td><td>する
しない</td></tr>
<tr><td>

DVD自動初期化設定

- 未使用のDVD-RWディスクを本機にセットしたとき、自動的に初期化される録画フォーマットを設定できます。
  VRフォーマット、ビデオフォーマットの、いずれかで初期化します。

</td><td>VR
ビデオ</td></tr>
</table>

録画機能設定の基本操作

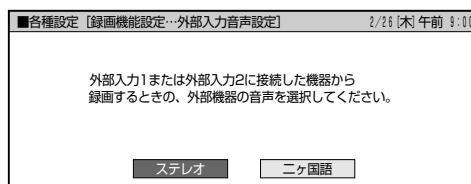
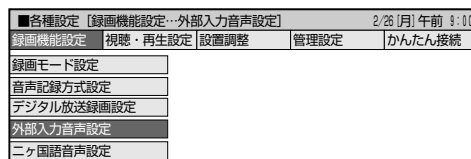
HDDモードでもDVDモードでも操作できます。

例:「録画機能設定」の「外部入力音声設定」を設定するとき

1 ① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面にする
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「録画機能設定」を選ぶ

3 ▲▼で設定する項目を選び、決定を押す

4 ◀▶で選択する項目を選び、決定を押す

5 終了するときは終了を押す

二重音声放送を録画するとき

- 二重音声放送を録画したときは、放送されている音声の種類と録画の種類（記録フォーマットや本機の設定）で記録される音声が異なります。

ハードディスク（HDD）に録画するとき

本機の設定	デジタル放送録画設定*1	HD/SD録画	VR録画	
	高速ダビング設定*2	ー	する	しない
放送の種類	マルチ音声*3（ステレオ二重音声など）	すべての音声を記録します。	視聴中の音声を記録します。	
	モノラル二重音声*4	主／副両方の音声を記録します。	二ヶ国語音声設定*5で設定されている音声を記録します。	主／副両方の音声を記録します。

DVDに録画するとき

本機の設定	録画フォーマット	VRフォーマット録画	ビデオフォーマット録画	
	高速ダビング設定	ー	する	しない
放送の種類	マルチ音声（ステレオ二重音声など）	視聴中の音声を記録します。	×	
	モノラル二重音声	主／副両方の音声を記録します。	二ヶ国語音声設定で設定されている音声を記録します。*6	

*1:「スタートメニュー」–「各種設定」–「録画機能設定」–「デジタル放送録画設定」で設定します。
*2:「スタートメニュー」–「各種設定」–「録画機能設定」–「高速ダビング設定」で設定します。
*3: デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「音声1」「音声2」などと表示されます。
例:「音声1は日本語のステレオ放送、音声2は外国語でステレオ放送を行っている番組」などをマルチ音声と言います。
*4: デジタル放送やアナログ放送で放送される場合があります。番組情報で「主」「副」などと表示されます。
*5:「スタートメニュー」–「各種設定」–「録画機能設定」–「二ヶ国語音声設定」で設定します。
*6: デジタル放送は録画できません。

視聴・再生設定

デジタル放送視聴設定	**字幕表示設定** • デジタル放送で字幕のある番組を視聴しているときに、常に字幕を表示させるかさせないかを設定することができます。	する しない
	PPV制限 • 暗証番号を入力しないとPPV番組を購入できないようにする設定です。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**137**・**138**ページ）をしておくことが必要です。	する しない
	PPV購入金額制限 • PPV番組の購入金額を制限する設定です。設定した金額以上の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**137**・**138**ページ）をしておくことが必要です。	数字ボタンで購入金額を入力 無制限
	視聴年齢制限設定 • 年齢制限のある番組の視聴を制限するための設定です。 年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。	数字ボタンで年齢を入力 無制限
	地域設定 • デジタル放送を視聴するとき、お住まいの地域に向けた放送を受信するための設定です。	北海道 東北 関東 甲信越／北陸 中部／東海 近畿 中国／四国 九州／沖縄
	郵便番号設定 • デジタル放送を視聴するとき、お住まいの地域に向けた放送を受信するための設定です。 「地域設定」をした後に設定します。	数字ボタンで郵便番号を入力
	双方向サービス設定 • 地上デジタル放送の双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線接続をするかしないかを設定することができます。	する しない
	個人情報初期化設定 • 本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。 本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。 • 個人情報初期化を行うと、設定が工場出荷時の状態に戻り、自動的に本機の電源が切れます。	する しない

<table>
<tr><td rowspan="3">DVD再生設定</td><td>視聴制限レベル
• ディスクの内容により、視聴制限を設けることができます。
「1」　子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。
「2～3」一般向けディスク（R指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
「4～7」一般向けディスク（R指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。
「8」　すべてのディスクを制限無しで再生することができます。
「切」　視聴制限を「切」にします。
• 視聴制限は、暗証番号を設定していないと設定できません。</td><td>レベル　1～8、切
国コード
※国コード一覧参照</td></tr>
<tr><td>ディスク優先言語
• 画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。</td><td>字幕言語
音声言語
メニュー言語
※言語コード一覧参照</td></tr>
<tr><td>アングルマーク表示
• DVDビデオのマルチアングルで記録されたシーンを再生中に、アングルマークを画面上に表示することができます。（アングルマーク「 」は、画面右下に表示されます。）</td><td>する
しない</td></tr>
</table>

国コード一覧

アメリカ	イギリス	オランダ	香港	台湾
カナダ	イタリア	ノルウェー	シンガポール	フィリピン
日本	スペイン	デンマーク	タイ	オーストラリア
ドイツ	スイス	フィンランド	マレーシア	ロシア
フランス	スウェーデン	ベルギー	インドネシア	中国

言語コード一覧

AA	アファル語	FY	フリジア語	LV	ラドビア語、レット語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GA	アイルランド語	MG	マダカスカル語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	GU	グジャラート語	MN	モンゴル語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HI	ヒンディ語	MR	マラータ語	ST	セストゥ語
BA	バジキール語	HR	クロアチア語	MS	マレー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IA	国際語	NA	ナウル語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IE	国際語	NE	ネパール語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TG	タジク語
BO	チベット語	IN	インドネシア語	NO	ノルウエー語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	IT	イタリア語	OM	アファン語（オロモ語）	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	IW	ヘブライ語	OR	オリヤー語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	JA	日本語	PA	パンジャブ語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	JI	イディッシュ語	PL	ポーランド語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	JW	ジャワ語	PS	パシュトー語	TR	トルコ語
DE	ドイツ語	KA	グルジア語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
DZ	ブータン語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
EL	ギリシャ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ=ロマン語	TW	トウィ語
EN	英語	KM	カンボジア語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
EO	エスペラント語	KN	カンナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥ語
ES	スペイン語	KO	韓国語	RU	ロシア語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	RW	キニャルワンダ語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VO	ボラピュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SD	シンド語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SG	サンゴ語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SH	セルビアクロアチア語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	ZH	中国語
FR	フランス語	LT	リトアニア語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語

次ページへつづく ▶▶▶

<table>
<tr><td rowspan="2">チャンネル設定

（地上アナログ
チャンネル設定）</td><td>地域番号設定
• 地域番号を入力して、地上アナログ放送のチャンネル設定を自動で行います。</td><td>地域番号入力</td></tr>
<tr><td>個別設定
• 「地域番号設定」では映らないチャンネルがあったり、チャンネルを追加したい場合などに設定します。
●ポジション
• ご使用の地域で放送されている放送局を入れる場所のことで、選局する順番を表します。
• 本機では、放送局を入れる場所が62ポジション（1〜62）あります。
1〜62の各ポジションには、お好みで入れることができます。
●受信チャンネル
• 放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
●画面表示チャンネル
• 本体表示部やテレビ画面に表示されるチャンネル（数字）のことです。
（録画予約をするときは、この表示で選局します。）
• ご使用の地域で使われている、使い慣れたチャンネル表示にしておくと便利です。
●受信微調整
• 映像の色がうすく見づらいときに、受信チャンネルを微調整します。
●チャンネルスキップ
• チャンネルスキップを「する」にしておくと、選局するときに空きチャンネル（放送のないチャンネル）をとび越して、選局できるようになります。</td><td>個別チャンネル設定
・ポジション
・受信チャンネル
・画面表示チャンネル
・受信微調整
・チャンネルスキップ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">チャンネル設定

（地上デジタル
チャンネル設定）</td><td>番組表取得設定
• 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。この番組表を取得するための設定です。
• 設定のしかたについて詳しくは、1. 接続・準備編 90ページをご覧ください。</td><td>する
しない</td></tr>
<tr><td>チャンネル設定ー自動
• はじめて受信登録するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合などに設定します。
• チャンネル設定の前に、必ず地域設定（1. 接続・準備編 80ページ）をしておいてください。（工場出荷時は、関東の東京に設定されています。）
• 設定のしかたについて詳しくは、1. 接続・準備編 82ページをご覧ください。</td><td>する
しない</td></tr>
<tr><td>チャンネル設定ー追加
• 自動設定でチャンネルを登録した後、新しく開始された放送チャンネルを追加するときに行います。
• 設定のしかたについて詳しくは、1. 接続・準備編 84ページをご覧ください。</td><td>する
しない</td></tr>
<tr><td>チャンネル確認／変更
• 受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変更して区別することができます。
• 設定のしかたについて詳しくは、1. 接続・準備編 86ページをご覧ください。</td><td>数字ボタン1〜10/0
（変更したい放送局を選び、数字ボタンで枝番を入力する）</td></tr>
<tr><td>チャンネル設定

（デジタル放送
チャンネル登録）</td><td>デジタル放送チャンネル登録
• リモコンの数字ボタンに登録された、地上デジタル放送／BS・110度CSデジタル放送のチャンネルを確認、変更することができる設定です。
• 設定のしかたについて詳しくは、1. 接続・準備編 67・68・92ページをご覧ください。</td><td>登録
初期化</td></tr>
</table>

項目	設定内容
プログレッシブ出力設定 • 通常画質の映像（525i）を、プログレッシブ（525p）に変換して見ることができます。 • プログレッシブに対応していないテレビと接続したときは、「しない」に設定してください。 • D映像端子が接続されていない場合や、D映像出力の設定がD1または1125i固定に設定されている場合は、プログレッシブ出力ができません。	する しない
シームレス再生設定 • VRフォーマットで編集したタイトル（オリジナルタイトルやプレイリスト）の、シーンとシーンのつなぎめをスムーズに再生するための設定です。 ※ 「する」に設定すると、シーンとシーンのつなぎめがスムーズに再生されますが、つなぎめが1秒程度ずれます。	する しない
画質調整 ● デジタルノイズリダクション設定 • 映像のノイズを低減して見やすい映像にすることができます。 • デジタルノイズリダクションは、つぎのときに働く機能です。 – デジタル放送のSD（スタンダード）番組や地上アナログ放送の視聴 – HD（ハイビジョン）放送などをVR録画したタイトルの再生、SD録画したタイトルの再生 – DVDの再生など • デジタル放送のHD（ハイビジョン）番組やHD録画したタイトルの再生では働きません。 ● クロマディレイ設定 • 輝度信号と色信号のズレを調節できます。	デジタルノイズリダクション設定 切 弱 中 強 クロマディレイ設定 −2 −1 切 +1 +2
暗証番号設定 • 本機は視聴年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときや、PPV番組などを購入するときに、暗証番号を使います。	する しない
チャンネル表示設定 • 番組を選局するときや再生をはじめるときの、チャンネル表示の出しかたを設定します。 ●大きく表示 番組情報を含めてチャンネル表示をします。 ●小さく表示 チャンネル番号だけを表示します。 ●表示しない 何も表示しません。	大きく表示 小さく表示 表示しない
タイムシフト視聴設定 • 放送視聴時にタイムシフト視聴をするための設定です。タイムシフトする時間を選びます。 • タイムシフト視聴設定を行うと、電源が自動的に「切」になります。 再度電源を入れ直すと、設定が有効になります。	--（しない） 30分 60分 90分

次ページへつづく ▶▶▶

視聴・再生設定の基本操作

HDDモードでもDVDモードでも操作できます。

おしらせ

- 暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2004年1月現在）

■ 暗証番号を設定するときは

①右の手順3で「暗証番号設定」を選び、（決定）を押します。

②（◀）（▶）で「する」を選び、（決定）を押します。

③数字ボタンで4桁の暗証番号を入力します。

④確認のため、もう一度数字ボタンで暗証番号を入力します。

⑤「確認」で（決定）を押す。

■ ディスク優先言語を設定するときは

①右の手順4で「ディスク優先言語」を選び、（決定）を押します。

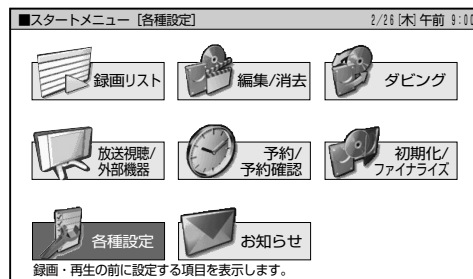
②（◀）（▶）で字幕言語を選び、（決定）を押します。

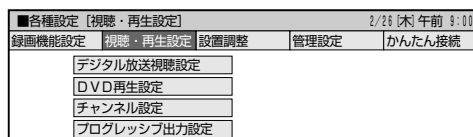
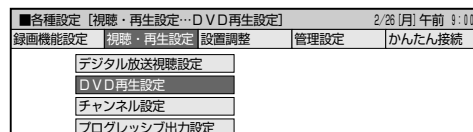
③（◀）（▶）で音声言語を選び、（決定）を押します。

④（◀）（▶）でメニュー言語を選び、（決定）を押します。

- 字幕言語／音声言語／メニュー言語が設定できます。

例:「視聴・再生設定」の「DVD再生設定」を設定するとき

1 ①（スタートメニュー）を押し、スタートメニュー画面にする

②（▲）（▼）（◀）（▶）で「各種設定」を選び、（決定）を押す

2 （◀）（▶）で「視聴・再生設定」を選ぶ

3 （▲）（▼）で「DVD再生設定」を選び、（決定）を押す

4 （▲）（▼）で「視聴制限レベル」を選び、（決定）を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。
  暗証番号を入力して（決定）を押すと、次の画面になります。

5 （◀）（▶）で視聴制限レベルを選び、（決定）を押す

6 （◀）（▶）で国コードを選び、（決定）を押す

7 終了するときは、（終了）を押す

設置調整

<table>
<tr><td rowspan="1">日付・時刻設定</td><td>日付・時刻設定
• 予約設定の前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。時計合わせがされていないと、Gコード予約などの設定ができません。
デジタル放送を受信すると自動的に日付・時刻が設定されますので、この設定は不要です。
• 設定方法が、基本操作と少し異なります。1. 接続・準備編 44ページもご覧ください。</td><td>2004年
1月
1日
午前0:00</td></tr>
<tr><td rowspan="3">映像・音声設定</td><td>画面サイズ設定
• テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
• 接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定します。
●「16:9ワイド」：
16:9画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
●「4:3ノーマル」：
4:3画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
•「レターボックス」：
画面サイズが4:3のテレビと接続して16:9映像を視聴するとき、16:9の比率を保ったまま上下に黒い帯を入れて再生します。
•「パンスキャン」：
画面サイズが4:3のテレビと接続して16:9映像を視聴するとき、映像の左右をカットして4:3のサイズで再生します。
（4:3PS指定の表示があるDVDビデオディスクで働く機能です。）</td><td>16:9（ワイド）
4:3（ノーマル）
レターボックス
パンスキャン</td></tr>
<tr><td>D映像出力設定
• テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、「D映像出力設定」の変更が必要です。
• テレビとの接続、接続端子については、1. 接続・準備編 23～25ページをご覧ください。</td><td>D1
D2
D3
D4
1125i固定</td></tr>
<tr><td>3次元Y／C分離設定
• テレビ放送や外部入力に接続された機器の映像をよりきれいに見たり、録画したりするときに設定します。
● する：　より高画質の録画ができます。（通常は「する」に設定します。）
● しない：電波の弱い放送を受信していて映像がおかしく見える場合や、本機の外部入力端子にビデオやゲーム機などを接続したときに映像が乱れる場合は「しない」にします。
※ DV入力やS映像入力では働きません。</td><td>する
しない</td></tr>
</table>

次ページへつづく ▶▶▶

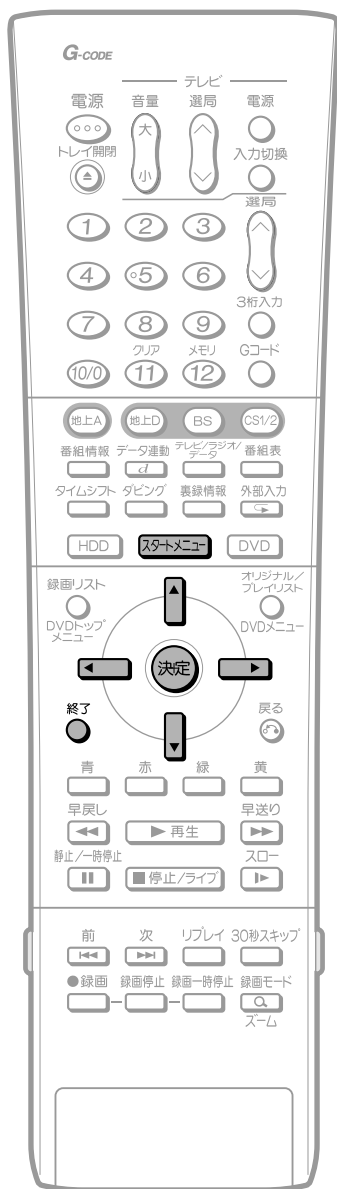
<table>
<tr><td rowspan="2">映像・音声設定</td><td>デジタル音声出力設定
• デジタル入力端子付きのオーディオ機器などとデジタル接続をして、ドルビーデジタルサラウンドなどを楽しむための設定です。
●デジタル放送視聴時等の信号形式
「PCM」
2chオーディオ機器やMDとデジタル接続して楽しむことができます。AAC音声を、2chオーディオ機器で再生可能なPCM（非圧縮）音声にして出力します。
「AAC」
AAC対応のAVアンプなどを接続するときに選択します。
●DVD再生時の信号形式
「PCM」
2chオーディオ機器やMDとデジタル接続して楽しむことができます。ドルビーデジタル音声を、2chオーディオ機器で再生可能なPCM（非圧縮）音声にして出力します。
「ドルビーデジタル」
ドルビーデジタル（5.1ch）対応のオーディオ機器とデジタル接続してドルビーサラウンドが楽しめます。
設定内容について詳しくは 1. 接続・準備編 27ページをご覧ください。</td><td>●デジタル放送視聴時等の信号形式
PCM
AAC

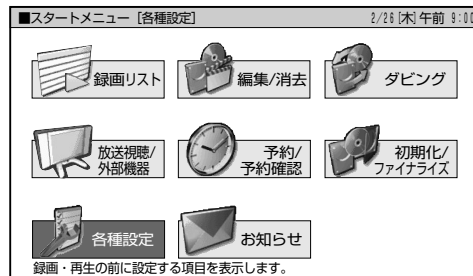
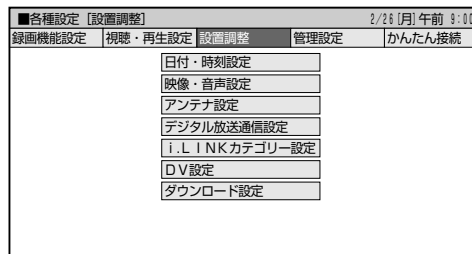
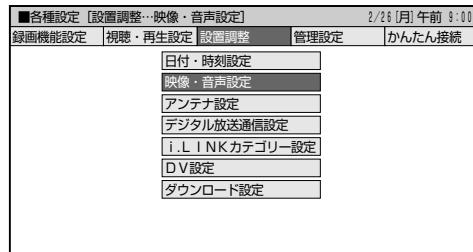
●DVD再生時の信号形式
PCM
ドルビーデジタル</td></tr>
<tr><td>DVD音声出力レベル
• 音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。
●　ノーマル：記録されている音声をそのまま出力します。
●※シフト：　ドルビーデジタル音声を再生したとき、音楽用CDの音声と同じ音量に聞こえるよう、平均音量を上げます。（音声がおかしく聞こえるときはノーマルにしてください。）
※　設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。</td><td>ノーマル
シフト</td></tr>
</table>

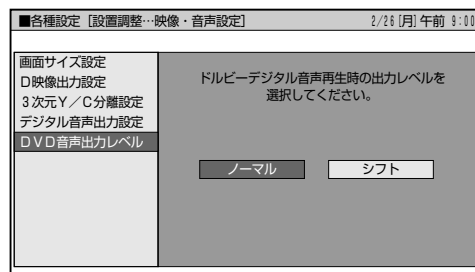
アンテナ設定	**電源・受信強度表示** • アンテナに電源を供給するかどうかを設定します。また、アンテナの受信強度を確認することができます。個人でアンテナを設置している場合には、受信強度の確認をしてください。	BS・CSアンテナ電源 受信強度
	周波数設定 • 新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得することができます。	周波数設定
	信号テスト-BS • BSデジタル放送の衛星信号をテストします。	BS-1 BS-3 BS-5 BS-7 BS-9 BS-11 BS-13 BS-15 終了
	信号テスト-CS • 110度CS放送の衛星信号をテストします。	CS-2 CS-4 CS-6 CS-8 CS-10 CS-12 CS-14 CS-16 CS-18 CS-20 CS-22 CS-24 終了
	信号テスト-地上D • 地上デジタル放送の信号をテストします。	地上D-1 地上D-2 地上D-3 地上D-4 地上D-5 地上D-6 地上D-7 地上D-8 地上D-9 地上D-10 地上D-11 地上D-12 終了
デジタル放送通信設定	**電話回線設定・自動** • 電話回線の設定を自動で行います。	–
	電話回線設定・手動 • 自動で電話回線の設定ができないときは、手動で設定を行います。	電話回線種別 外線発信番号 ダイヤルトーン検出
	電話会社設定 • 各放送局など電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。通常は設定する必要はありません。	発信者番号通知 事業者番号 解除番号設定
	プロバイダ設定 • すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。	接続名／電話番号 ユーザー名／パスワード 詳細設定
i.LINKカテゴリー設定 • i.LINK端子を接続した時の本機のカテゴリーを設定します。 ただし、本機をコントロールすることはできません。		D-VHS DVC
DV設定	**DVリンク設定** • デジタルビデオカメラをDV接続して本機で録画するとき、本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作することができます。 「する」：デジタルビデオカメラを接続して、画面に表示された操作パネルからデジタルビデオカメラを操作することができます。 「しない」：デジタルビデオカメラを接続して画面に表示された操作パネルでカメラを操作すると誤作動するようなときに選択します。	する しない

次ページへつづく ▶▶▶

<table>
<tr>
<td>DV設定</td>
<td>DV入力音声設定
• デジタルビデオカメラをDV接続して本機で録画するときの音声を選択します。
「ステレオ1」：　デジタルビデオカメラで録画したときの音声が記録できます。
「ステレオ2」：　デジタルビデオカメラでアフレコしたときの音声が記録できます。
「ステレオ1+2」：ステレオ1とステレオ2の音声を同時に記録できます。
※　二重音声は「主音声」「副音声」の選択ができません。
※　接続するデジタルビデオカメラの音声出力が16bitのときは、DV入力音声設定が無効になります。</td>
<td>ステレオ1
ステレオ2
ステレオ1+2</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">ダウンロード設定
「する」：　電源「切」のとき自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（ダウンロードとは、衛星放送の電波を使って本機のソフトウェアを新しいソフトウェアに書き換えることです。これにより、本機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することができます。）
ダウンロード中は、本体液晶表示部に「dL」と表示されます。
「しない」：自動ダウンロードを行いません。</td>
<td>する
しない</td>
</tr>
</table>

設置調整の基本操作

例:「設置調整」の「映像・音声設定」を設定するとき

1 ① スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面にする
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「設置調整」を選ぶ

3 ▲ ▼ で設定する項目を選び、決定 を押す

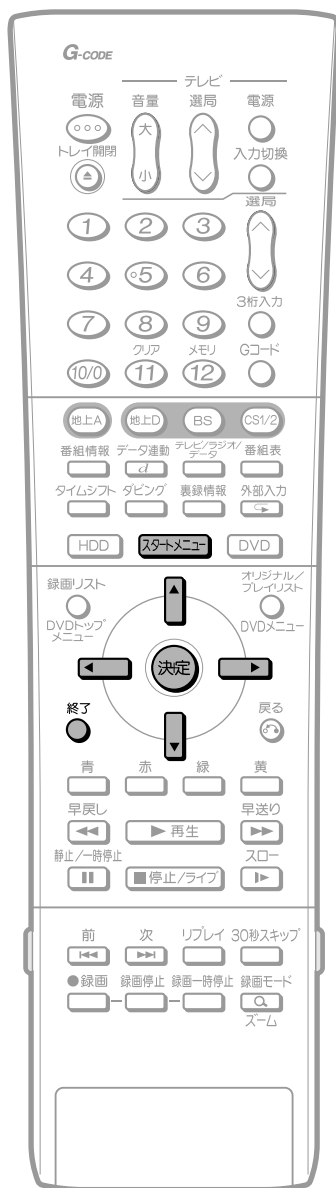
4 ① ▲ ▼ で選択する項目を選び、決定 を押す

② ◀ ▶ で項目を設定し、決定 を押す

5 終了するときは、終了 を押す

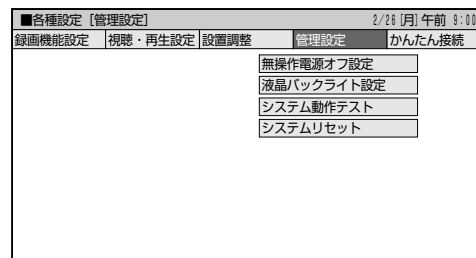
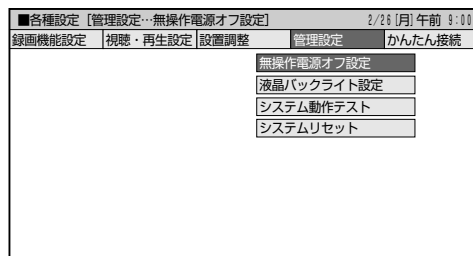
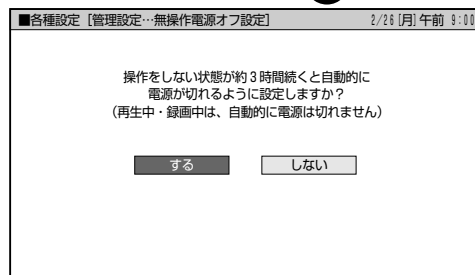
管理設定／かんたん接続設定

項目	設定
無操作電源オフ設定 • 操作をしない状態が約3時間続くと自動的に電源が切れるように設定できます。 （再生や録画を行っているときは働きません。）	する しない
液晶バックライト設定 • 液晶バックライトを録画予約時に点灯させるか消灯させるかを設定します。 ●通常: 録画予約中でも、液晶バックライトを点灯するように設定します。 ●予約実行時のみ切: 電源切（待機）状態から録画予約が始まったときのみ液晶バックライトを消灯できます。就寝中の明かりが気になるときに設定すると便利です。	通常 予約実行時のみ切
システム動作テスト • アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているかなどをテストすることができます。 • テストに失敗したときは、1. 接続・準備編 **18**～**22**、**32**、**66**ページをご覧になり、「アンテナとの接続」「電話回線の接続」「B-CASカードの挿入」が正しく行われているかどうか、ご確認ください。	テスト実行→テスト終了
システムリセット • システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。 • リセットを実行すると、予約内容、番組表データは消去されますが、ハードディスク内の録画番組は消去されません。また、暗証番号の設定はリセットされません。 • システムリセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。	リセットする リセットしない

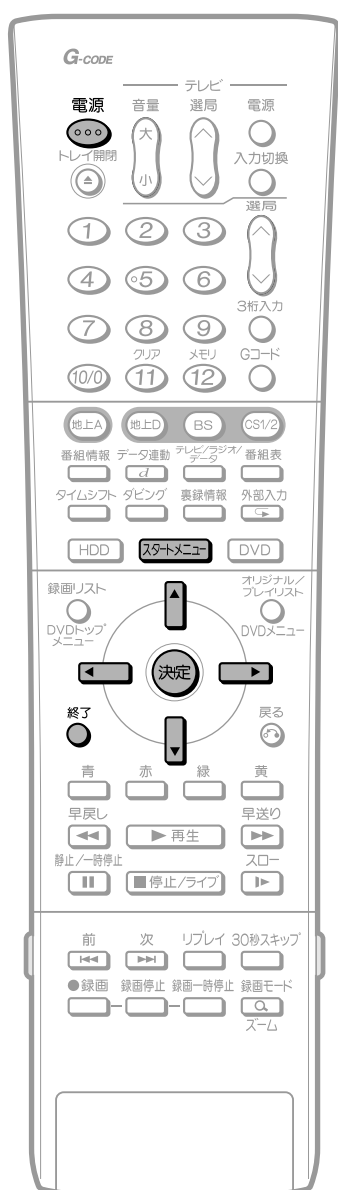
■「かんたん接続設定」については、別冊の取扱説明書 1. 接続・準備編 **38**ページをご覧ください。

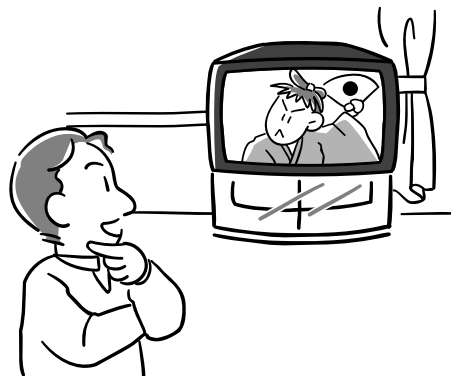
管理設定の基本操作

例:「管理設定」の「無操作電源オフ設定」を設定するとき

1 ① スタートメニュー を押し、スタートメニュー画面にする
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「管理設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で設定する項目を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で項目を設定し、決定 を押す

5 終了するときは、終了 を押す

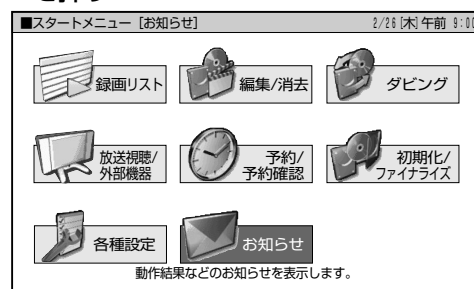
お知らせを見る

- 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されたメッセージを読むことができます。
- また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。

おしらせ

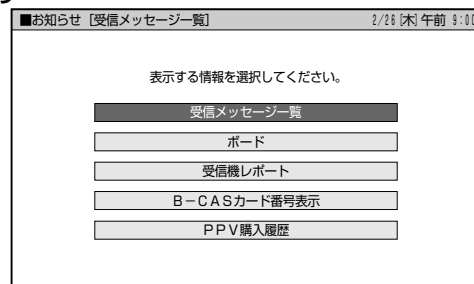
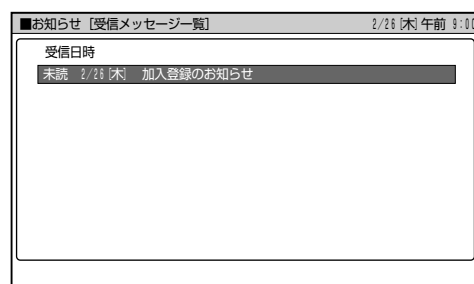
- **お知らせランプについて**
  放送局から送られたメッセージを受信すると、本体前面のお知らせランプが点灯します。

受信メッセージを見る

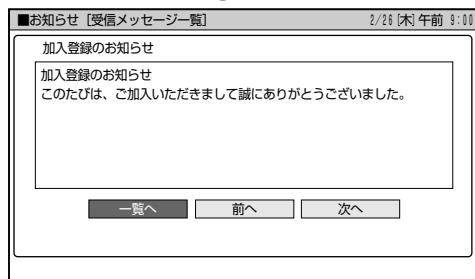
- 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

［例］加入登録のお知らせを見る

1 ① [スタートメニュー]を押し、スタートメニュー画面にする
② [▲][▼][◀][▶]で「お知らせ」を選び、(決定)を押す

2 [▲][▼]で「受信メッセージ一覧」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で見たいメッセージを選び、(決定)を押す

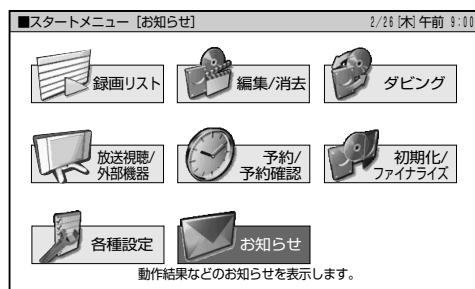
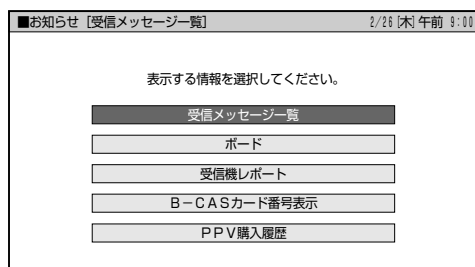
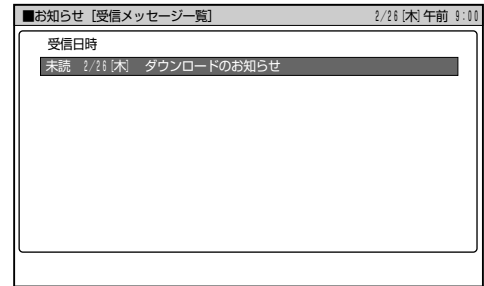
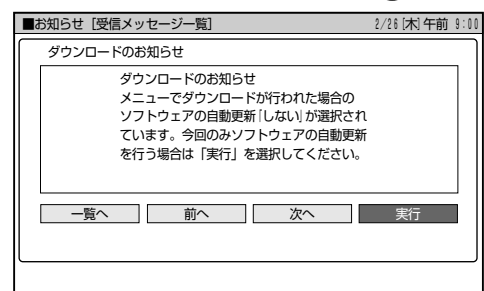
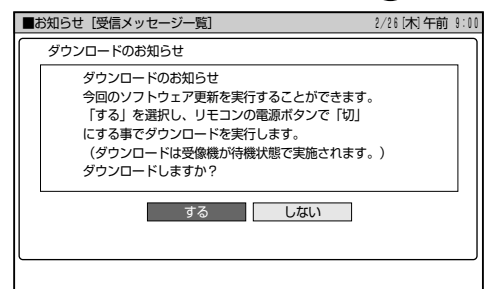
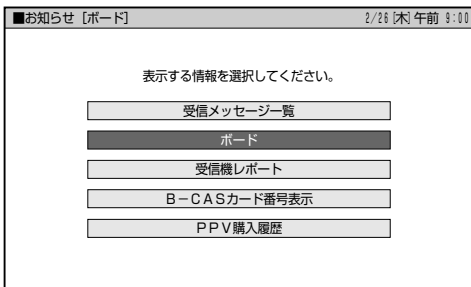
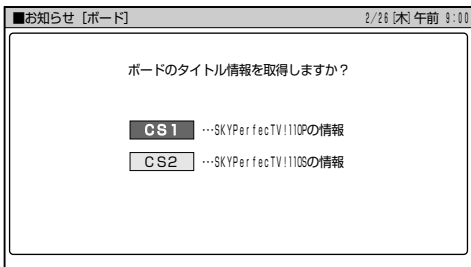
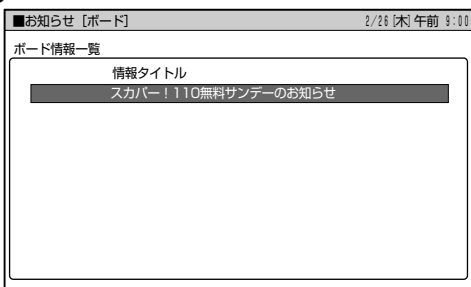
■お知らせ［受信メッセージ一覧］　2/26［木］午前 9:00
受信日時
未読　2/26［木］　加入登録のお知らせ

次ページの手順 4 へつづく

4 ① メッセージの内容を確認する
② ◀ ▶ で「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選び、(決定) を押す

「一覧へ」‥受信メッセージが一覧表示されます。
「前へ」‥前のメッセージが見られます。
「次へ」‥次のメッセージが見られます。

5 (終了)を押し、終了する

ダウンロードサービスについて

- 「設置調整」の「ダウンロード設定」（**142**ページ）で、ソフトウェアの自動更新を「しない」に設定している場合は、「お知らせ」受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新することができます。
（自動更新を「する」に設定している場合は、手順**2**の画面メッセージと選択の「実行」は表示されません。）

1 ① (スタートメニュー)を押し、スタートメニュー画面にする
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「お知らせ」を選び、(決定) を押す

2 ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、(決定) を押す

3 ▲ ▼ で「ダウンロードのお知らせ」を選び、(決定) を押す

4 ① メッセージの内容を確認する
② ◀ ▶ で「実行」を選び、(決定) を押す

5 ① メッセージの内容を確認する
② ◀ ▶ で「する」を選び、(決定) を押す

- DVD、CDが本機にセットされている場合はディスクを取り出し、リモコンの(電源)で本機の電源を「切」にします。（電源待機状態にします。）

ボードを表示して情報を見る

• CS各ネットワーク（CS1、CS2）から送られてくる掲示板（ボード情報）のタイトルを一覧表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

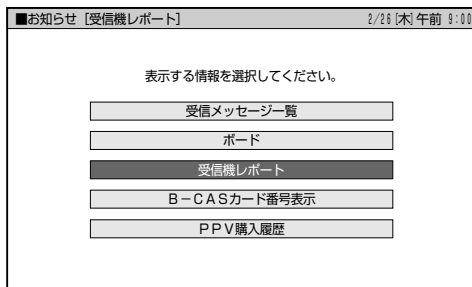
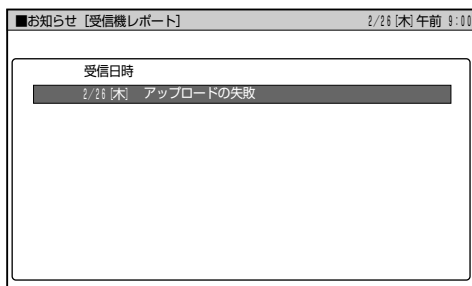
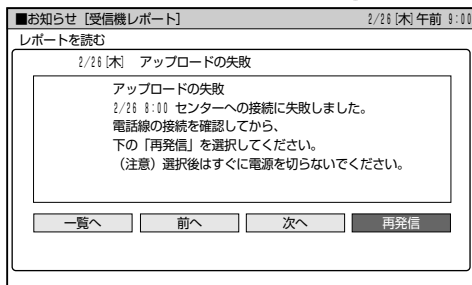
1 ① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面にする
② ▲▼◀▶で「お知らせ」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「ボード」を選び、決定を押す

3 ▲▼で表示したいネットワーク（CS1、CS2）を選び、決定を押す

4 ▲▼で見たい情報のタイトルを選び、決定を押す

5 ① メッセージの内容を確認する
② ◀▶で「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選び、決定を押す

6 終了を押し、終了する

おしらせ
• ボード情報は、そのとき送られてくるものを表示します。消去することはできません。

受信機レポートを見る

• B-CASカードが壊れたときや、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したとき、予約を実行できなかったときなど、受信機に関係したレポートを読むことができます。

［例］アップロード失敗のレポートを見る

1 ① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面にする
② ▲▼◀▶で「お知らせ」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「受信機レポート」を選び、決定を押す

3 ▲▼で見たいレポートを選び、決定を押す

4 ① レポートの内容を確認する
② ◀▶で「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを選び、決定を押す

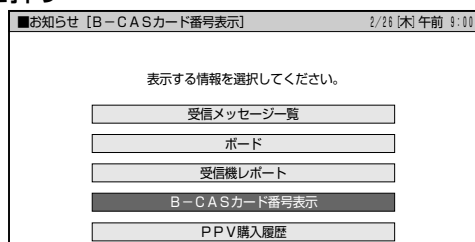
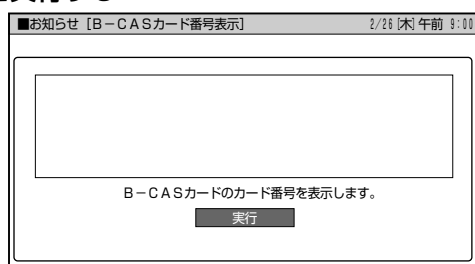
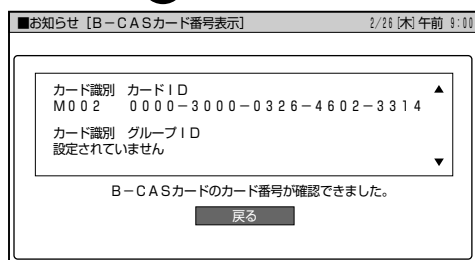
5 終了を押し、終了する

おしらせ
• アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定を押すと、アップロードし直すことができます。

B-CASカード番号を見る

• 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためにB-CASカード番号を表示するものです。

1
① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面にする
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「お知らせ」を選び、決定を押す

2 ▲ ▼ で「B-CASカード番号表示」を選び、決定を押す

3 「実行」で決定を押し、B-CASカード番号表示を実行する

4
① B-CASカード番号を確認する
② 「戻る」で決定を押す

「カード識別」
メーカー識別用のアルファベット1文字と3文字の数字からなります。

「カードID」
カード固有の番号です。

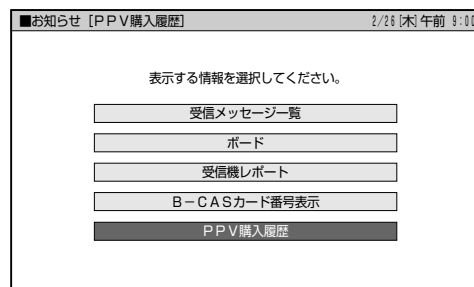
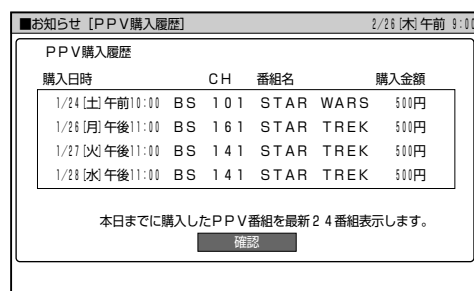
「グループID」
複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが、異なるB-CASカードに書き込まれます。

5 終了を押し、終了する

PPV購入履歴を見る

• 購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

1
① スタートメニューを押し、スタートメニュー画面にする
② ▲ ▼ ◀ ▶ で「お知らせ」を選び、決定を押す

2 ▲ ▼ で「PPV購入履歴」を選び、決定を押す

3
① 画面を確認する
② 「確認」で決定を押す

4 終了を押し、終了する

故障かな?と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理サービスをお申しつけになる前に次のことをお確かめください。

! ここをご確認ください

電源が入らない

- 電源プラグをコンセントに正しく接続してください。（1. 接続・準備編 **35**ページ）
- 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約1分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。

電源を「切」にしたのに動作音がする

- 録画予約、ダウンロード、番組表取得、B-CAS通信などを実行している動作音です。

ディスクトレイを閉めても出てきてしまう

- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。（**38**ページ）
- ディスクをクリーニングしてください。（**13**ページ）
- DVDビデオの場合、リージョン番号が一致しているか確認してください。（**8**ページ）
- 再生できるディスクかどうか、確認してください。（**8**ページ）

画面が映らない

- 接続が正しいか確認してください。（1. 接続・準備編 **18**〜**31**ページ）
- テレビまたはAVアンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。
- ディスクをクリーニングしてください。（**13**ページ）
- D映像出力端子接続時は、S映像・映像出力からデータ放送は出力されません。

再生できない

- ディスクをクリーニングしてください。（**13**ページ）
- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。（**38**ページ）
- DVDのリージョン番号が一致しているか確認してください。（**8**ページ）
- 本機内部の結露を除去してください。（**13**ページ）
- PAL/SECAM方式のディスクは再生できません。
- 正常に録画できなかった映像は再生できません。
- ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。
- 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れて約1時間以上放置されてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。
- 電源コードを抜くときは、本体の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押して、本体の電源が切れたことを確認してから、抜いてください。

画面が止まり、操作ボタンを受け付けない

- 停止ボタンを押してから、もう一度再生してください。
- 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。
- 電源が切れないときはリセットボタンを押してください。（**155**ページ）
- ディスクに傷や汚れがありませんか。ディスクを確かめてください。ディスクのクリーニングについては**13**ページをご覧ください。

リモコンで操作できない

- リモコンの設定番号と本機の設定番号が合っていることを確認してください。（1. 接続・準備編 **47**ページ）
- リモコンの使用範囲で操作してください。（1. 接続・準備編 **34**ページ）
- リモコンの電池を新しいものと交換してください。（1. 接続・準備編 **34**ページ）

こんな場合は		ここをご確認ください
スピーカーから音が出ない、音が歪む		•テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN(最小)」になっている場合はボリュームを上げてください。 •一時停止またはスロー再生/早送り/早戻し中は、音声が出ません。 •DTS収録のDVD音声は、デジタル出力端子からのみ出力されます。本機のデジタル出力をDTS対応アンプまたはデコーダーとデジタル接続してください。(1. 接続・準備編 **27**ページ) •接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。 •接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。 •ディスクをクリーニングしてください。(**13**ページ) •ディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど、音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。
外部映像入力時にワイド画面に切り換わらない		•本機のS映像入力端子は、アスペクト信号(ID-1)に対応していて、ワイド切り換えを行います。そのため接続されている機器がID-1に対応していない場合は、ワイドにならない場合があります。 テレビ側で切り換えてください。
外部映像入力時に画像が乱れる		•コピーガード入りの信号ではありませんか。(**7**・**11**ページ) コピーガード入りの信号は本機を通さず、直接テレビに接続してください。
画面が縦または横に伸びている		•お使いのテレビに合わせて画面のサイズ(縦横比)の設定を行ってください。(**139**ページ) •上記で設定できない場合は、テレビ側で画面サイズの設定をしてください。 •本機で「画面サイズ設定」を「16：9ワイド」として16：9の映像をハードディスクに高速ダビング優先またはDVDにビデオフォーマットにて、LPモード以下の録画モードで録画したタイトルは、レターボックスやパンスキャンの表示は行えません。
他のDVDプレーヤーで再生できない		•ビデオフォーマットのディスクの場合は、ファイナライズを行ってください。(**10**、**128**ページ) •再生できないDVDプレーヤーがあります。(**8**、**10**ページ) •VRフォーマットのディスクは、RW対応のDVDプレーヤーでないと再生できません(ファイナライズをする必要があることもあります)。(**9**、**128**ページ) 「1回だけ録画可能」のタイトルは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生してください。
二ヶ国語の音声が切り換えられない		•ビデオフォーマットで録画されたものは再生中に切り換えできません。 •アンプ側で操作して音声を切り換えてください。アンプ側に音声切り換え機能がないときは、アナログ接続して切り換えてください。 •ダビング中は音声の切り換えはできません。
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる		•本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクをVTRに通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。
テレビなどが誤動作する		•ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

次ページへつづく ▶▶▶

こんな場合は		ここをご確認ください
録画が中断されている		•ディスクに傷や汚れがなどあり録画ができない部分では、録画が一時中断される場合があります。再度録画が開始されると、その開始部分が別のタイトルとして録画されます。ディスクが録画できない状態のときは、排出されます。 •録画が中断された場合、録画が中断された地点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。
録画したが何も録画されていない		•放送のない(放送が終了している)チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態が録画される場合があります。 •映像がないデジタル放送をVR録画したときは何も録画されません。 •ディスクをクリーニングしてください。(**13**ページ)
録画ができない、録画が途中で止まる		•録画ディスクの空き時間は足りているか確認してください。(**10**、**21**、**35**、**40**ページ) •ディスクが保護されていないか確認してください。(**125**ページ) •オリジナルのタイトル数がHDDでHD/SD録画199タイトル、VR録画199タイトル、DVD-RW/Rで99タイトルになっていないか確認してください。 •他のDVDレコーダーで編集したディスクにチャプターマークが999以上あるときは、本機で編集(録画)できません。 •他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、編集(録画)ができない場合があります。 •録画が禁止された映像を録画しようとしていないか確認してください。(**7**、**11**ページ) •予約待ちのあいだ、または録画予約中に停電がなかったか確認してください。 •ディスクをクリーニングしてください。(**13**ページ) •傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。
DVD-RWディスクにビデオフォーマットで録画できない		•Ver.1.0のDVD-RWディスクにはビデオフォーマットでの録画はできません。Ver1.1以降のディスクを使用してください(バージョンはジャケットの裏面などに表示されています。)(**9**ページ)
DV入力端子に接続したデジタルビデオカメラの映像が映らない/音が出ない/誤動作する		•接続を確認してください。(**116**ページ) •一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。 •DVケーブルを接続し直してください。 •「DVリンク設定」で「しない」にしてみてください。(**141**ページ) •「DV入力音声設定」で入力音声を切り換えてください。(**142**ページ)
DV入力端子に接続したデジタルビデオカメラが操作できない		•「DVリンク設定」で「する」にしてください。画面上の操作パネルで操作が行えます。(**141**ページ) •接続したカメラの機種によっては、操作できないものもあります。
外部入力や電波状態の悪い放送を受信したときに映像が乱れる(おかしく見える)		•「設置調整」－「映像/音声設定」－「3次元 Y/C分離設定」を「しない」に設定してご使用ください。(**139**ページ)

こんな場合は / ここをご確認ください

こんな場合は		ここをご確認ください
消去や編集ができない		•ダビング予約待機中は、ダビング元の編集操作ができません。
静止画が再生できない		•再生したい静止画はJPEGファイルですか。 •画像サイズは2MBを超えていませんか。
再生できる静止画とは		•DCFフォーマットに準拠した静止画ファイルです。
放送の映像も音声も出ない		•電源プラグがコンセントから抜けていませんか。（1. 接続・準備編 **35**ページ） •電源「切」の状態になっていませんか。（1. 接続・準備編 **35**ページ） •BS/CSアンテナ電源が「切」になっていませんか。（**141**ページ） •映像、音声のない放送ではありませんか。 •外部入力にしていませんか。
放送の映像が出ず、音だけ出る		•映像出力の接続ケーブルがはずれていませんか。（1. 接続・準備編 **23**～**25**、**28**～**31**ページ） •D映像出力の設定は、テレビに合わせて正しく設定されていますか。（**139**ページ）「接続設定リセット」をして、設定をやり直してください。
横長の映像や縦長の映像になる 画面の上下に黒い帯が出る		•「画面サイズ」設定は、接続されているテレビに合っていますか。（**139**ページ） •ワイドテレビの場合、16:9（ワイド）に設定してありますか。（**139**ページ） •本機で「画面サイズ設定」を「16：9ワイド」としてハードディスクに高速ダビング優先またはDVDにビデオフォーマットにて、LPモード以外の録画モードで録画したタイトルは、レターボックスやパンスキャンの表示は行えません。 •D映像出力端子を使いテレビと接続しているとき、S映像出力端子や映像出力端子からは16：9（スクイーズ）縦長の映像が出力されます。
左右に黒帯がついた映像になる		•D映像出力の設定が「1125i固定」時は4:3映像は左右に黒帯をつけて出力します。
画面に四角のノイズ（モザイク）が出る		•デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの早い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。
映像が停止する		•本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。 •ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。
音が左右逆になる／片方しか音が出ない		•音声ケーブルが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。（1. 接続・準備編 **23**～**26**、**28**～**31**ページ）
2つの音が混ざって聞こえる		•音声切換が間違っていませんか。音声切換ボタンを押し、音声を切り換えます。（**31**、**84**ページ） •ダビング時や、デジタル音声出力は音声切換できません。

次ページへつづく ▶▶▶

こんな場合は		! ここをご確認ください
DVDビデオをセットしたが自動的に再生されない		•HDDドライブが選ばれていませんか。DVDドライブに切り換えると自動的に始まります。 •自動再生対応のDVDビデオをセットしましたか。(**79**ページ)
予約したのに実行されていない		•予約待機中に停電がありませんでしたか。 •ハードディスク/DVD-RW/Rが満杯になっていませんか。不要な録画番組をリストから消去してください。(**126**、**127**ページ) •ダビングをしていませんでしたか。 •温度の低い場所で使用すると、ハードディスクが準備状態になることがあります。予約実行前しばらくの間、電源を「入」のままにしておきます。 •電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。(**1. 接続・準備編** **35**ページ) •「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。 •番組が延長されていませんか。
録画予約した内容が途中で切れている		•録画予約実行中に電源プラグが抜けたり、停電がありませんでしたか。 •ハードディスク/DVD-RW/Rが満杯になっていませんか。不要な録画番組をリストから消去してください。(**126**、**127**ページ) •途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。(**7**、**11**ページ) •ディスクをクリーニングしてください。(**13**ページ) DVD-RW/Rに録画中、停電などがあった場合は、録画が途中で途切れます。 ハードディスクに録画中、停電などがあった場合は、その番組が損なわれます。 •「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。
録画予約した番組が消されている		•おこのみ番組の「上書き番組」は、自動的に上書き録画されます。(**52**ページ)
録画リスト(録画番組一覧)が表示されない		•再生中、タイムシフト視聴中や追いかけ再生中は、録画リストを表示できません。停止／ライブボタンを押し、ライブ視聴に戻ってください。 •温度の低い場所にあったものを使用すると、ハードディスクが準備状態になることがあります。しばらくお待ちください。 •ハードディスクの異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(**160**ページ)にご連絡ください。
デジタル接続をしてCDをMDに録音したとき、CDとMDの曲番が合わない		•CDの曲間が短い場合は、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。 •「再生設定」でトラックの指定を行った場合などは、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。
何も操作していないのに音がする		•電源が入った状態で一定時間何も操作していないとき、HDDの動作音がする場合があります。
使用中、本体の温度が高くなる		•本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。 •BS/CSアンテナ電源を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体キャビネットが多少温かくなります。

ここをご確認ください

録画開始時や再生開始時に「カチャ」音がする

• 本機を使用していてしばらく操作をしていなかった場合は、録画開始時および再生開始時に本体から「カチャ」という音がする場合があります。本体の動作音で故障ではありません。

操作ができない

• 使用温度範囲内でお使いですか。（**162**ページ）極端に寒い場所で本機を使用するときは、ハードディスク保護のため（暖気のため）にハードディスクの準備が必要です。電源を入れてから使用できるまで、時間がかかりますのでしばらくお待ちください。

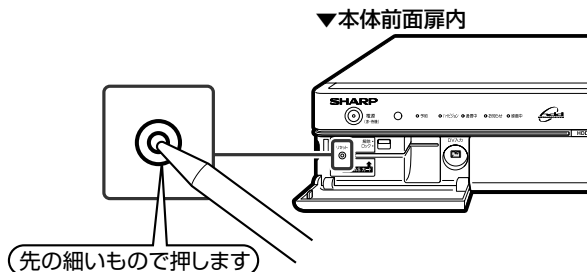
このようなときも故障ではありません

アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

• 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。

リセットボタンについて

• 本機を使用中に、強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、本体前面扉内のリセットボタンを先の細いモノで押してください。
• 電源を入れた状態でリセットボタンを押した後は、いったん電源が「切」になります。再度電源を「入」にしてください。このとき、システム処理を行うためご使用になれるまで時間がかかる場合があります。システム処理中は本体前面の「HDD」ボタンが点滅し、システム処理が完了すると本体前面の「HDD」ボタンが点灯します。（操作は「HDD」ボタンが点灯してから行ってください。）
• リセットボタンを押しても改善されないときは、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも改善されないときはお買いあげの販売店またはシャープ修理相談センター（**160**ページ）にお問い合わせください。

▼本体前面扉内

エラーメッセージ

■DVD／HDDに関するメッセージ

再生しようとしたディスクが正しくなかったり、操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
規定外のディスクです。	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てディスクトレイが自動的に出てきます。	
この操作はできません。	• 誤った操作をしたとき	—
このディスクは保護されています。	• ディスク保護がされているディスクに録画や編集をしようとしたとき	• ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れ直してください。
ディスクが修復できませんでした。	• DVDの録画中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、ディスクに傷や汚れなどがあり修復できなかったとき	—
ファイナライズできませんでした。	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
番組録画できません。	• コピーガード信号が入った映像が入力されたとき	• 録画できません。
タイトル（チャプター）が一杯です。	• タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき • タイトル数:HDD 199/DVD 99 チャプター数: HDD 999/DVD 999	• 不要なタイトルを消去してください。 • 不要なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。
このディスクは録画できません。	• 本機で録画できないディスク(CD-Rなど)や傷、汚れのあるディスクがセットされているとき	• 録画用ディスクをセットし直してください。
DVカメラにテープが入っていません。	• DV接続したデジタルビデオカメラにテープが入っていない状態で操作しようとしたとき	• デジタルビデオカメラにテープを入れてください。
初期化できませんでした。	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
ディスクが満杯です。 録画ができません。	• ディスクの空き容量がないとき	• 空き容量のあるディスクを入れてください。 • 不要なタイトルを消去してください。
この番組はこのディスクでは録画できません。	• 「1回だけ録画可能」の番組をCPRMに対応していないディスクで録画しようとしたとき	• VRフォーマットで初期化したDVD-RW Ver1.1以降のCPRM対応ディスクを入れてください。
DVカメラが認識できません。	• デジタルビデオカメラを接続せずにDV入力にしたとき • 複数のデジタルビデオカメラを接続したとき	• デジタルビデオカメラを接続し、もう一度DV入力に設定し直してください。
番組放送時間が変更されたため、予約の開始ができませんでした	• 録画予約した番組の放送時間が変更されたため予約実行されなかったとき	—

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
日付・時刻を設定してください。	• 本機の時計合わせをしていないときに予約設定を行ったとき	• 時計合わせを行い、再度予約し直してください。
ディスクが満杯になりましたので 録画を停止しました。	• ディスクの空き容量がなくなりました。	――――
ディスクを修復しています。	• 停電などにより、DVDにディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など	• DVDのディスクの修復が完了するまでお待ちください。
規定外のディスクです。 ディスクを取出してください。	• 規定外のディスクや傷などにより、録画・再生できないディスクが入っています。	• ディスクを取り出してください。
この映像はこのディスクでは録画できません。 予約の開始ができませんでした。	• 「1回だけ録画可能」の映像をDVD-Rや、CPRM非対応のDVD-RWに録画予約しようとしたとき	• CPRM対応のDVD-RWディスクに、VRフォーマットで録画してください。
録画禁止になりましたので、録画を停止し ライブ放送に戻りました。	• 録画中に、著作権保護のため、放送そのものが録画禁止である番組が始まったとき	――――
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっている番組を録画しようとしたとき	――――
ハードディスクにエラーが発生しましたので操作できません。 ライブ視聴のみ可能です。お早めに最寄のご販売店又はシャープ修理相談センターまでご連絡ください。	• ハードディスクに問題がある場合、特殊再生や録画など、ハードディスクの動作が必要な操作を行ったとき	• 一度ハードディスクを初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべくお早めにお買い上げの販売店、またはもよりの修理相談センター（**160**ページ）にご連絡ください。
システムエラーが発生しました。 電源を「切」にします。	• 電源「入」のとき、ハードディスクに問題が生じたとき 自動的に電源が切れます。	――――
ハードディスクを確認中です。確認完了までは、 ライブ視聴のみ可能です。	• 停電の後や、電源「入」のまま電源プラグを抜き差ししたとき	• ハードディスクの確認に1〜2分かかる場合があります。その間は、放送視聴のみの動作となります。しばらくお待ちください。
録画禁止の番組です。 タイムシフト視聴できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっていて、タイムシフト視聴ができないとき	• 放送中の映像のみ視聴いただけます。
ハードディスクの暖気を行なっています。 このまましばらくお待ちください。	• ハードディスクを、暖気しているとき	• ハードディスクの準備（暖気）が終わるまでしばらくお待ちください。 使用温度範囲内でお使いください。（**162**ページ）

■特殊再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
ハードディスクの状態が悪いので 操作できません。	• ハードディスクに異常があるとき、特殊再生などの操作を行ったとき	• ハードディスクの修理が必要ですので、お早めにお買い上げの販売店、またはもよりの修理相談センター（**160**ページ）にご連絡ください。
ハードディスク準備中です。 操作できません。	• ハードディスクが準備中のとき、特殊再生や録画など、ハードディスクの動作が必要な操作を行ったとき	• 準備が終わるまでは放送視聴のみ可能です。操作可能になるまで、しばらくお待ちください。（寒い場所で使用している場合など、ハードディスクの温度が低くなっていると、ハードディスクの準備に時間がかかることがあります。）

■ダビング時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
これ以上選択できません。	• ダビング元タイトルやチャプターを選択する画面で、11タイトル（チャプター）を選ぼうとしたとき	• 10タイトル（チャプター）ずつダビングしてください。
このタイトルは、高速ダビングできません。	• 「高速ダビング優先」設定されていないタイトルを、DVDのビデオフォーマットに高速ダビングしようとしたとき、あるいは、HDDでフレーム単位編集をしたタイトルを高速ダビングしようとしたとき	• 「レート変換ダビング」をしてください。
タイトル保護が設定されています。 解除してからダビングしてください。	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルで、タイトル保護をかけたものをダビングしようとしたとき	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルは、オリジナルの移動のみ可能です。タイトル保護がかかったタイトルは、移動ができませんので、タイトル保護を解除してからダビング（移動）してください。
録画制限のある番組のため、 ダビングできません。	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルを、DVD-Rや、CPRM非対応のDVD-RWにダビングしようとしたとき	• CPRM対応のDVD-RWディスクに、VRフォーマットでダビングしてください。
予約できる番組数を超えているため予約できません。	• 最大予約番組数（32番組）を超えて予約しようとしたとき	• 予約を1番組解除してからダビング予約を設定してください。
このディスクはダビングできません。	• 録画不可ディスクが入っていたとき（タイトル・チャプター数オーバー、保護されたディスク、傷や汚れのあるディスク、ROMディスク）	• 録画可能なディスクに入れ換えてください。
	• DVD-RW/R以外のディスクが入っていたとき	• DVD-RW/Rのディスクからダビングしてください。

■編集時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
これ以上選択できません。	• タイトル選択消去で、２０タイトル(チャプター)を超えて選択しようとしたとき	• 最大20タイトル(チャプター)ずつ消去してください。
この位置は指定できません。	• 3秒以内の範囲を指定して編集しようとしたとき	• 範囲を3秒以上に指定しなおしてください。
チャプターが一杯です。この操作はできません。	• 編集結果がチャプター数上限(999箇所)を超えるとき	• チャプター結合により、不要なチャプターマークを消去してから編集してください。
このチャプター同士は結合できません。	• 結合できないチャプターを結合しようとしたとき(1タイトル内でシーン消去やチャプター消去をした際にできるチャプターは消去できません)	―――

■その他のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
放送が受信できません。 [E202]	• アンテナが接続されていないときや受信できないとき	• アンテナ線の確認をしてください。
受信状態が悪くなっています。 [E202]	• アンテナ信号が弱くなったとき	• アンテナの向きがズレていませんか。
ライブ放送の他のチャンネルでこの番組の延長放送が始まります。	• 今放送している番組が、他のチャンネルで放送されるとき	―――
アンテナがショートしています。 アンテナ電源を[切]にしました。 アンテナ接続を確認してください。 [E209]	• アンテナ線がショートしています	• アンテナ接続を確認してください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）
■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽営田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（03.12）

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（**160**ページ）

補修用性能部品の最低保有期間

● 当社は、デジタルハイビジョンレコーダーの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 「故障かな?と思ったら」（**150**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：デジタルハイビジョンレコーダー
- 形　　　名：DV-HRD2/DV-HRD20
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電 話 番 号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のデジタルハイビジョンレコーダーの点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕様

品名			デジタルハイビジョンレコーダー	
型名			DV-HRD2	DV-HRD20
一般	ハードディスク容量		160GB(ギガバイト)	250GB(ギガバイト)
	電源電圧		AC 100V、50/60 Hz	
	消費電力		40W (本体のみ。BS・110度CSデジタルアンテナ電源供給切時)	
	待機時消費電力		2W (本体のみ。BS・110度CSデジタルアンテナ電源供給切時)	
	外形寸法		幅430mm、奥行260mm、高さ78mm (突起部を除く。後面のファン部を含む奥行は292mm)	
	本体質量		5.1kg	
	使用温度範囲		+5℃～+35℃	
	使用湿度範囲		10%～80%(結露なきこと)	
	動作姿勢		水平	
記録	録画可能ディスクメディア		DVD-RW、DVD-R	
	記録圧縮方式 (ハードディスク)		映像：MPEG2(リアルタイムVBR) 音声：MPEG2 AAC／ドルビーデジタル(2ch)／ リニアPCM(2ch)(FINEモードのみ)	
	記録圧縮方式 (DVD-RW/R)		映像：MPEG(リアルタイムVBR) 音声：ドルビーデジタル(2ch)／リニアPCM(2ch)(FINEモードのみ)	
	録画時間 (ハードディスク)※	デジタル放送 (デジタルダイレクト)	HD：約 13時間 SD：約 40時間 ラジオ：約295時間	HD：約 21時間 SD：約 63時間 ラジオ：約464時間
		デジタル放送 アナログ放送 外部入力	FINE(高画質)：約 37時間 SP(標準)：約 66時間 LP(2倍)：約133時間 EP(3倍):約200時間	FINE(高画質)：約 59時間 SP(標準)：約104時間 LP(2倍)：約209時間 EP(3倍):約314時間
			MN(マニュアル)：FINE～EP間の32段階(ただし、連続記録時間は、最大12時間)	
	録画時間 (DVD-RW/R: 4.7GB時)		FINE(高画質)：約1時間 SP(標準)：約2時間 LP(2倍)：約4時間 EP(3倍):約6時間	
			MN(マニュアル)：FINE～EP間の32段階	
再生	再生可能ディスクメディア		DVDビデオ、DVD-RW、DVD-R DVD+RW(ビデオフォーマットファイナライズ済)、DVD+R(ビデオフォーマットファイナライズ済) 音楽CD、ビデオCD CD-R (ビデオCDフォーマット／音楽CDフォーマット／JPEGファイル形式の静止画) CD-RW (ビデオCDフォーマット／音楽CDフォーマット／JPEGファイル形式の静止画)	
チューナー	受信チャンネル	BSデジタル	000～999ch	
		110度CSデジタル	000～999ch	
		地上デジタル	000～999ch	
		VHF	1～12ch	
		UHF	13～62ch	
		CATV	C13～C63ch	
タイマー	予約番組数		1年32番組	

※ 本機で録画できる時間は映像の内容によって変わってきます。テレビ画面に表示される「HDD 残時間」はもっとも録画時間が短い場合の目安です。

	項目	仕様
接続端子	映像入力	入力1、入力2の2系統 ピンジャック：1 V p-p(75Ω不均衡)
	S映像入力	入力1、入力2の2系統 4ピンミニDIN： Y=1 V p-p(75Ω不均衡) C=0.286 V p-p(75Ω不均衡)
	音声入力	入力1、入力2の2系統 ピンジャック(L/R)：2 V rms (入力インピーダンス 22kΩ以上)
	DV 入力	1系統(前面) 4ピン(i.LINK/IEEE1394準拠)
	映像出力	出力1の1系統 ピンジャック：1 V p-p(75Ω不均衡)
	S映像出力	出力1の1系統 4ピンミニDIN： Y=1 V p-p(75Ω不均衡) C=0.286 V p-p(75Ω不均衡)
	音声出力	映像音声出力側とD映像出力側の2系統 ピンジャック(L/R)：2 V rms (1kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5kΩ以下)
	デジタル音声出力	1系統 光コネクタ：角形光ジャック
	D1/D2/D3/D4映像出力	1系統 Y：1.0 V p-p(75Ω不均衡) 1系統 C_B、C_R：0.7 V p-p(75Ω不均衡)
	i.LINK(TS)入出力端子(MPEG-TS)	1系統(i.LINK/IEEE1394準拠)
	BS・110度CSアンテナ入出力	入力と出力のそれぞれ1系統 75Ω不平衡型(F型)
	VHF/UHFアンテナ入出力	VHF/UHF1軸　入力と出力のそれぞれ1系統 75ΩF型コネクター
	地上デジタルアンテナ入出力	入力と出力のそれぞれ1系統
	ネットワーク端子(10BASE-T)	1系統
	電話回線端子	モジュラー式　V.90bis(56Kbps)
静止画方式	再生可能な画像ファイル形式(JPEG)	JPEGベースライン準拠/JPEG(Exif2.2) ※Design rule for Camera File system(DCF)準拠
	再生可能なファイルサイズ	容量：最大2MB
付属品	ワイヤレスリモコン、単4形乾電池2個、映像・音声コード、D映像ケーブル、75Ω同軸ケーブル(両側F接栓ケーブル)2本、電源コード、ACアダプタ、電話線、モジュラー分配器、B-CASカード(B-CASユーザー登録はがき、B-CASカード使用許諾契約約款付き)、取扱説明書(本書)、取扱説明書「1.接続・準備編」、保証書	

※ DCFは、(社)電子技術産業協会(JEITA)の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このDVDレコーダーは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
<This DVD Recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>
- あなたがテレビ(ラジオ)放送や録画(レコード録音)物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

用語の解説

用語	説明
AAC	音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格である、Advanced Audio Coding の略です。地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4倍ほど圧縮効率が高くなっています。
BS放送	衛星放送のことで、BSとはBroadcasting Satelliteの略です。静止衛星から直接家庭に電波が送られるので、きれいな画面で受信することができます。
CATV	ケーブルテレビ（有線放送）のことです。
DTS	デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。
D映像端子	コンポーネントと呼ばれる3本の輝度･色差信号（Y/Cb/CrおよびY/Pb/Pr）のコード接続を、1本のコードで行えるように考案された端子です。D端子は、色差信号の他にも、走査線、アスペクト比、インターレース／プログレッシブの情報を送ることができます。
HD/SD録画	デジタル放送をそのままの画質でハードディスク（HDD）に録画する方式です。録画した後の編集操作に制限はありますが、デジタル放送ならではの美しい映像を録画することができます。ハイビジョン放送を録画するときは「HD録画」になります。 スタンダード放送を録画するときは「SD録画」になります。
i.LINK(TS)	i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。本機では、i.LINK(TS)端子にD-VHSビデオデッキを接続して、本機内蔵チューナで受信したデジタル放送を録画できますが、デジタル放送を伝送する映像信号にTransport Stream（トランスポートストリーム）が使われることから「i.LINK(TS) 」と表記します。i.LINKは、IEEE1394をなじみやすく表現するための呼称で、IEEE（米国・電気電子学会）によって標準化された国際標準規格です。 * i. LINKはソニー株式会社の商標です。
JPEGファイル	静止画ファイルを圧縮する技術の１つです。ファイル容量を小さくできるので、デジタルカメラやインターネットなどで、広く使われています。
VBRコントロール	Variable Bit Rateコントロールの略で、動きの速い部分や色の移り変わりの激しいところなどの複雑な映像には符号量を多く割り当てて、逆の場合には少なく割り当てるというようにビットレート（一定時間に転送する符号量）を可変で制御することです。
VRフォーマット	DVD-RWの基本的な録画方式で、本機のいろいろな編集機能が楽しめる録画方式です。
VR録画	デジタル放送を任意の録画モードでハードディスク（HDD）に録画する方式です。録画した後に多彩な編集操作が楽しめます。
インターレース （とび越し走査）	テレビは525本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。（この1画面を1フィールドと言います。）次に偶数番目の走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（この画像を1フレームと言います。）を作っていく方式のことです。
追いかけ再生	HDDに録画しながら、録画中の番組を再生して見ることができる機能です。
オリジナル／プレイリスト	テレビ放送や外部入力などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（オリジナルタイトルはそのまま残ります。）
高速ダビング優先	HDDに録画する際、高速ダビング優先を「する」に設定しておくと、録画後にDVDのビデオフォーマットでも高速ダビングができる機能です。
コピーガード	複製防止機能のことです。著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
視聴制限 （パレンタルレベル）	デジタル放送やDVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを本機は設定することができます。
ジャストダビング	HDDからDVDへダビングするとき、1枚のディスクに収まるようにタイトルの記録時間に合わせて録画モードを選択し、録画する機能です。
ジャスト録画	録画先がDVDの録画予約で複数の予約があったときに、設定された録画モードで録画できない番組を録画モードを変えて録画する機能です。
スキップ	再生中のチャプター（トラック）の先頭に戻る、または次のチャプターに進む機能です。
スライドショー	ディスクに記録されている静止画（JPEGファイル）を一定間隔で次々と表示していく機能です。

用語	説明
タイトル	本機で録画した番組の1つをタイトルといいます。
タイムシフト	本機は、電源を入れているあいだ中、放送中の番組をハードディスクに自動録画するしくみになっています。自動録画された番組はいろいろな再生のしかたで視聴することができます。
地上アナログ	従来のUHF・VHF放送（アナログ放送）のことです。
チャプター	タイトルをさらに区切ったものをチャプターといいます。
同時録画再生	録画しながら、録画済みの番組を再生して見ることができる機能です。（但し、DVD録画中のDVD再生はできません）
ビデオフォーマット	市販のDVDプレーヤーで再生できるようにする録画方式です。（すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。）
チャンネルスキップ	本体のチャンネル選局をしたときに放送のないチャンネルをとばして選局できる機能です。
つづき再生	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。本機では各タイトル毎につづき情報をメモリーします。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。DVDビデオディスクによっては、トップメニューのことを「タイトル」と呼んでいるものもあります。
トラック	音楽用CDなどの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタル（5.1ch）	ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。
4：3 PS パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面
ファイナライズ	DVD-RWやDVD-Rに対応した他のDVDプレーヤーで、本機で録画したディスク（ビデオフォーマット）を再生できるようにすることです。（全てのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。） VRフォーマットのディスクを再生できるDVDプレーヤーは「RW COMPATIBLE」表示の付いたDVDプレーヤーです。
フォルダ	ディスク内のJPEGファイルは、管理しやすくするために、いくつかのグループに分けて保存されています。このグループのことを「フォルダ」といいます。
プレイバックコントロール（PBC）	ビデオCDの再生方式の一つで、再生したときに画面に表示される情報を対話形式で選ぶことができる機能です。
プログレッシブ	とび越し走査（インターレース）しないで1フィールド目で525本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。
マルチアングル	DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）
マルチ音声	DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。（マルチ音声記録のディスクで楽しめる機能です。）
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
リニアPCM音声	音楽用CDに用いられている信号記録方式です。
リモコン番号	本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコンの番号は、「リモコン番号1」「リモコン番号2」の2種類があります。
レート変換ダビング	ダビングする際に、ダビング後の画質を選択できる機能です。
4：3 LB レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。
録画リスト	録画した番組が一覧で確認できるリスト画面です。 録画リストは、画面リストとタイトル名リストが選択できます。

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

● 製品についてのお問い合わせは・・			
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**
	西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**
《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時 （年末年始を除く）			

● 修理のご相談は・・	**160**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

TINS-A937WJZZ Ⓖ
04P01-JKK